

樂理教範

18
710

072629-000-0

18-710

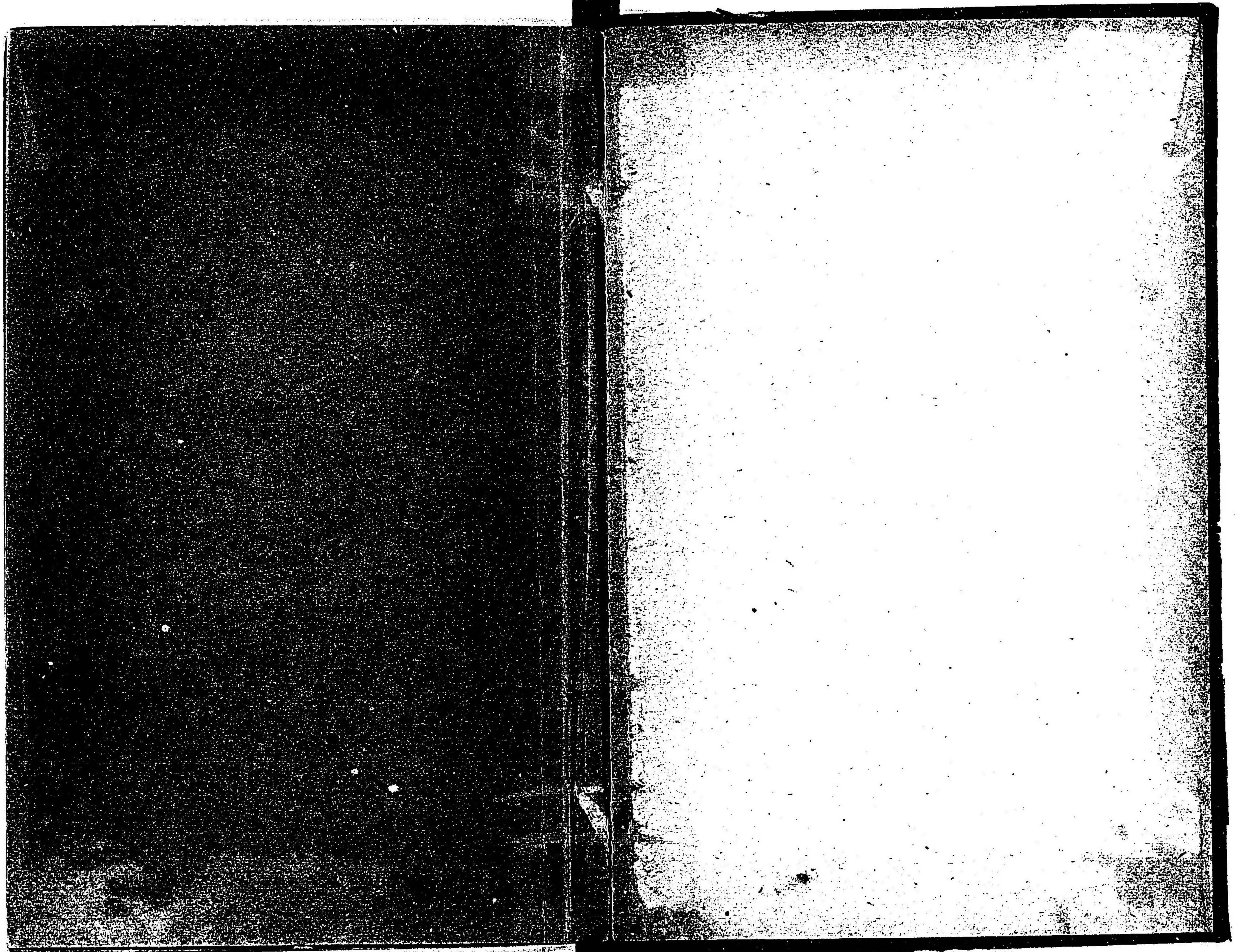
樂理教範

鷹野 国蔵 / 編

M29

CEH-0140





鷹野國藏編

樂理教範

東京北隆館發兌

18-710

緒言

本書ハ北隆館ノ囑托ニヨリ編者カ數年實地
 教授ト經驗トニ徴シ其順序方法等ヲ編述セ
 シ者ニシテ尋常師範學校教科用書教員講習
 科及檢定試驗用ノ好侶伴タリ
 方今樂理ノ著書汗牛充棟番ナラス而シテ概
 皆精密該博ヲ事トシ技術ノ應用ヲ主トセス
 是ニ於テ本書ハ繁ニ走り簡ニ失スルノ弊ヲ
 除キ勉メテ技術ノ應用ヲ主トセリ
 本書編纂ノ目的ハ繁簡取捨ノ勞ヲ取り技術



上ニ於テ其主要ナル者ヲ排記シ其事實ノ説
明ヲ平易ニシ且其了解ヲ安カラシメンカ爲
圖解ヲ以テシタリ讀者此ニ注意シテ本書ヲ
繙カハ樂理ノ至難ナルモ油然トシテ氷解ス
ルニ至ルヘシ

明治廿九年一月

編者識

樂理教範

目次

總論	一
第一編 樂譜論	七
第一章 譜表	七
第二章 音部記号	十一
第三章 音符及ヒ休止記号	十八
第四章 變化記号	二十六
第五章 小節及ヒ拍子	三十五
第六章 雜記号	四十二

第二編 旋律論……………五十四

第一章 音程……………五十四

第二章 音程ノ轉回……………六十二

第三章 音階……………六十七

第四章 嬰音ヲ有スル長音階……………七十二

第五章 變音ヲ有スル長音階……………七十九

第六章 短音階……………八十七

第七章 七音ノ名稱及ビ性質……………九十四

第八章 主調及轉調……………九十八

第九章 半音階……………百三

樂理教範

東京 鷹野 國藏 編



論

音樂ノ人心ニ喜怒哀樂ノ感情ヲ起サシ
 カニ由ル者ナリト雖モ技術其者ヲシテ
 ルハ樂理ノ力ニ依ル者トス是レヲ以テ
 技術ノ要素ニシテ技術ハ樂理ノ力ニ依
 奏効者ナリト謂フベシ故ニ音樂ヲ學ハント欲
 スル者ハ又宜シク樂理ノ如何ヲ考究セザルヘカラズ
 音ノ波及 空氣中ニ音ノ波及スルハ或ル物体カ空氣

中ニ於テ振動シテ音ヲ發スル時其運動ヲ周圍ノ空氣ニ傳達シテ遂ニ吾人ノ聽官ニ訴フル者ナリトス今試ニ靜肅ナル水面ニ瓦礫ヲ投入スレバ小波ヲ起シ其點ノ周圍ニ圓波ヲ畫キ漸々遠キ處ニ達ス是水ハ石ノ衝突ヲ受ケ其運動ヲ其側ノ水分子ニ傳フル者ナリ音ヲ傳達スル空氣ノ振動モ又之レト同シク發音物体ノ振動ヲ其傍ノ空氣ニ傳へ漸次遠キニ及ホス者トス凡テ聲音ハ稀薄ナル空氣中ニ於テハ其音弱ク真空中ニ於テハ波及スルコト能ハザル者トス

聲音ノ傳達 聲音ハ液体及ビ固体ニ傳達スル者ニシ

テ水中ニアル人ハ水外ニ於テ或ハ水中ニ於テ發スル音ヲ聽クコトヲ得假令ハ魚類ノ水面ニ遊泳シタルキ水外ニ於テ烈シキ音ヲ發スルキハ忽チ水底ニ逃ルハ音ヲ聞キタルカ爲メニシテ即チ水中ニ音カ傳達スル例證ナリ

固体モ亦能ク音ヲ傳達ス長キ木材ノ一端ニ耳ヲ壓シ他端ニ生スル弱キ音ヲモ聞クコトヲ得又地上ニ耳ヲ壓シテ聞クキハ遠キ處ヨリ來ル人馬ノ響ヲ聞クコトヲ得ヘキカ如シ

樂音及ビ噪音 樂音トハ一定時間ニ一定ノ振動數ヲ

ナス者ヲ云フ即チ音響ノ性質常ニ同一ニシテ錯亂ナ
キ振動ヲ謂フ假令ハ人聲及ビ諸樂器等ヨリ發スル音
即是ナリ

噪音トハ一定時間ニ一定ノ振動ヲ爲サバ不規則ナ
ル者ヲ云フ假令バ砲聲雷鳴ノ如キ者即チ是ナリ必竟
吾人カ音樂ト稱スル者ハ樂音ノ調和的結合シタル結
果ニ過キズ樂音ニ三種ノ特性ヲ具有ス

音ノ高低(調子) 音ノ高低トハ發音物体振動ノ期限
即チ一定時間ニ成立スル處ノ振動數ノ多寡ニ關ス
ルモノナリ振動數愈多ケレハ音聲高ク愈少キキハ

聲音低シ詳言スレハ振動數ノ急速ナルモノハ高音
ニシテ緩徐ナル者ハ低音ナリトス音樂上是レヲ稱
シテ律ト稱ス

音ノ強弱(音量) 音ノ強弱トハ發音物体ノ振動スル
廣狹ニ關スル者ニシテ強音ハ遠キ距離ニ達スト雖
モ弱音ハ然カラス是一物体ノ振幅如何ニ關スル者
ニシテ廣キ者ヲ強音トナシ狹キ者ヲ弱音トナス然
レトモ此等ノ音ハ調子ニ變化ヲ及ホサル者トス
音色(色) 音色トハ其高低強弱共ニ同一ニシテ各種
ノ樂器ヨリ發響スル一種ノ聲音ノ性質ヲ云フ假令

ハ琴瑟風琴等ノ同高同強ニシテ自ラ其感覺ヲ異ニ
 スルカ如シ人聲ニ於テモ又然リトス此ヲ稱シテ音
 色ト云フ「ヘルムホルツ」氏ノ説ニ由テ見レバ音色ハ
 一物体ヨリ發生スル陪音ノ和聲的ノ結合ナリト云
 ヘリ
 聽收シ得ヘキ音 吾人カ常ニ最低音トシテ聞クコト
 ナ得ヘキ者ハ一秒時間ニ十六ノ振動ヲ有スル者ヲ以
 テシ最高音トシテ聞クコトヲ得ヘキ者ハ三萬二千七
 百六十九ノ振動ヲ有スル者ヲ云フ獨逸人ヘルムホル
 ツ氏ノ説ニ由レバ一秒時間ニ二十以上ノ振動ヲ有ス

ル者ニ非ラサレバ聽ルコトヲ得ヘカラスト又クニツ
 ク氏ノ説ニ由レバ一秒時間内ニ二萬三千以上ニ達ス
 ル振動數ヲ有スル音ハ聽クコト能ハスト云ヘリ(音樂
 上ニ於テ倍數ノ振動數ヲ有スル者ヲ「クォーター」ト云
 フ

第一編

樂譜論

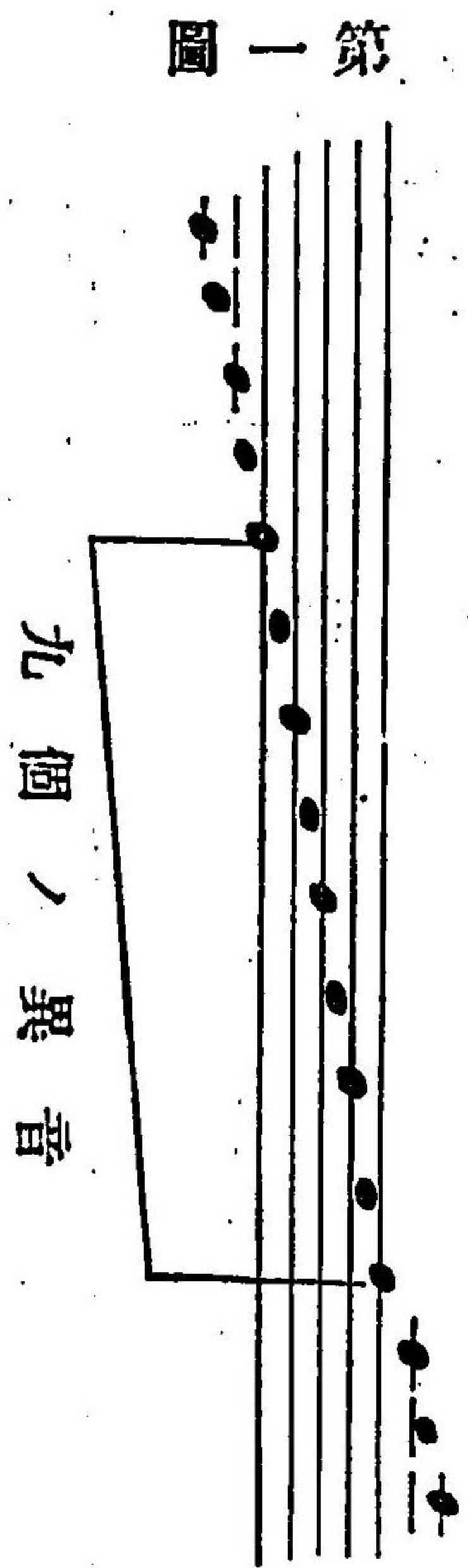
第一章

譜表

譜表ノ効用及組織 譜表ハ水平並行同一ノ距離ニ層
 重シタル五個ノ直線ヨリ成立シタル者ニシテ聲音ノ

種々ナル現象ヲ記載シ以テ諸音ノ高低ヲ一目瞭然タ
 ラシメンカ爲設ケラレタル者トス凡テ譜表ノ線間ハ
 下部ヨリ上部ニ進ムニ隨テ聲音ノ度ヲ異ニス上部ニ
 有ル者ヲ高音トナシ下部ニ屬スル者ヲ低音トナス譜
 表ヲ推算スルニハ線間ヲ問ハス第一第二ノ順序的番
 号ヲ以テ其名稱ヲ附與スル者トス
 基礎譜表 譜表ヲ應用スルニ當テ第一線ヨリ第五線
 ニ至ル線間ヲ利用スルキハ九個ノ異音ヲ排記スル
 ヲ得此位置ヲ有スル譜表ヲ名ツケテ基礎譜表ト稱ス
 基礎譜表以外ニ位置ヲ要スル場合ニ於テハ下方若シ

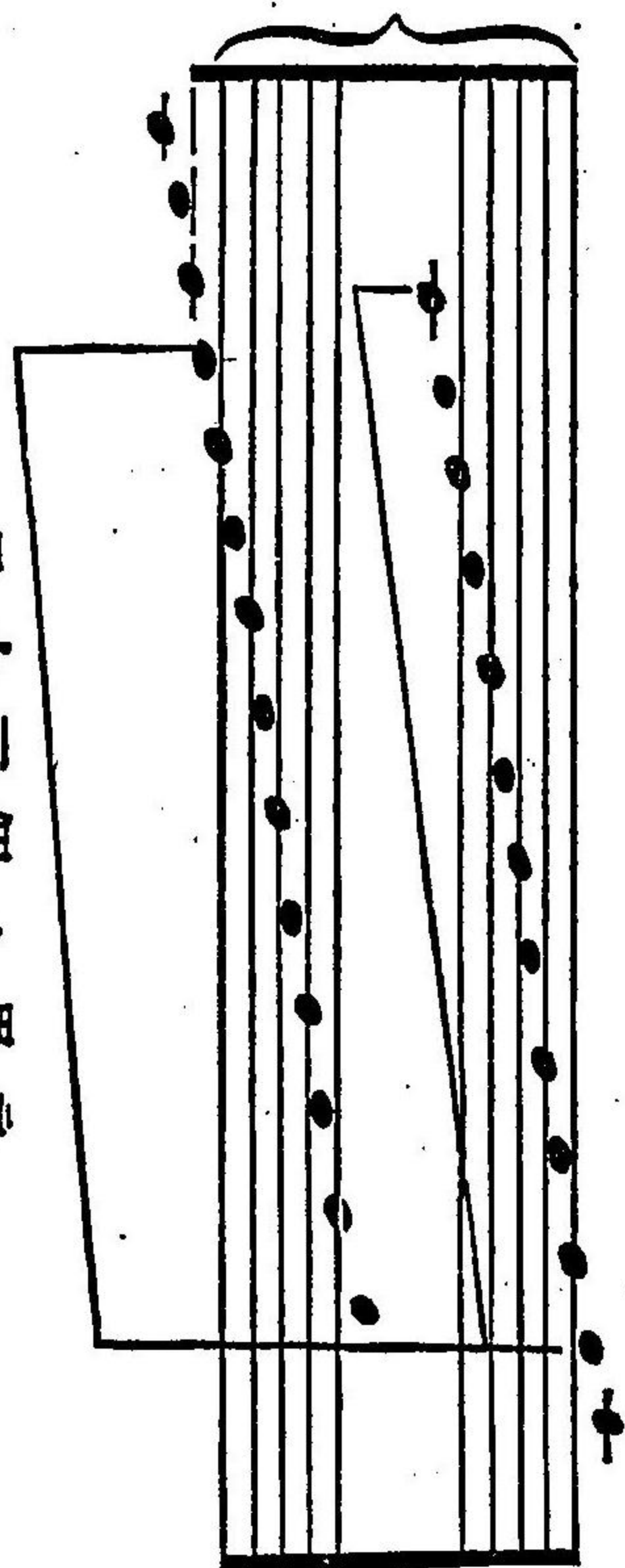
クハ上方ニ短線ヲ以テ位置ヲ作り以テ聲音ヲ排記ス
 ル時ハ無數ノ聲音ヲ排記シ得ル者ナリ其形左ノ如シ



大譜表 其他大譜表ト名ツクル者アリ此譜表ハ基礎
 譜表二個ヲ連結シタル者ニシテ複音以上ノ唱歌ヲ記
 載スルニ當テ用フル者ニシテ單音唱歌ニ於テハ之レ
 ナ用ヒス音符ノ數二十三個ヲ記載ス凡テ大譜表ヲ奏

彈スルニハ上部ヲ右手ヲ以テ下部ヲ左手ヲ以テ奏彈スル者トス其形左ノ如シ

第二圖



川十川圖ノ細略

大譜表上ニ於テモ基礎譜表ト同シク聲音ノ欠乏ヲ告クル場合ニ於テハ譜表ノ上部若シクハ下部ニ短線ヲ畫キ位置ヲ作ルヲ以テ聲音ヲ排記スル者トス

第二章 音部記號

基礎七音 音樂上ニ使用スル聲音ノ符ハ之レニ名ツクルニいろはノ首句ノ七文字ヲ以テス之レヲ名ツケテ基礎七音ト云フ今此呂律ノ旋行ヨリ七音以外ニ渡ル時ハ之レヲ反覆使用スル者トス音樂上ニ用フル七音排列ノ順序ニ依リ配置スル時ハ左ノ如シ
ろ い と へ ほ に は

移遷音 凡テ音名ヲ以テ表ハシ示サレタル者ハ上部或ハ下部ニ移遷シ得ル者トス音樂上基礎七音ノ諸音ヨリ尙高低ノ諸音ヲ要スルコトアレハナリ如此キ場

合ニ於テハ其音部ニ從ヒ音名ノ上若シクハ音名ノ下ニ一黒点ヲ以テ區別スル者トス今基礎七個ノ音ヨリ上部下部ニ移遷シタル諸音ヲ示ス

上部移遷七音

ろ・い・と・へ・ほ・に・は
ろ・い・と・へ・ほ・に・は
ろ・い・と・へ・ほ・に・は

下部移遷七音

基礎七音

如此クシテ尙高音若シクハ低音ヲ要スル場合ニ於テハ音名ノ上部若シクハ下部ニ一黒点ヲ以テ表ハシ示ス然シテ今是等ノ諸音ヲ譜表上ニ記載スルニ當テ某線及某間カ何レノ音ニ當ルヤ否ヤヲ確定スルト甚ダ困難ナリトス依テ音部記号ヲ製作シテ

之レカ困難ヲ救正スルモノトス

音部記号 音部記号ハ譜表内ニ來ル處ノ諸音ヲ一目シテ確定センカ爲即諸音ノ根據標準トナルヘキ必用ナル記号ニシテ常ニ譜表ノ首端ニ置カル、モノトス
通常用フル者ヲ三種トナス

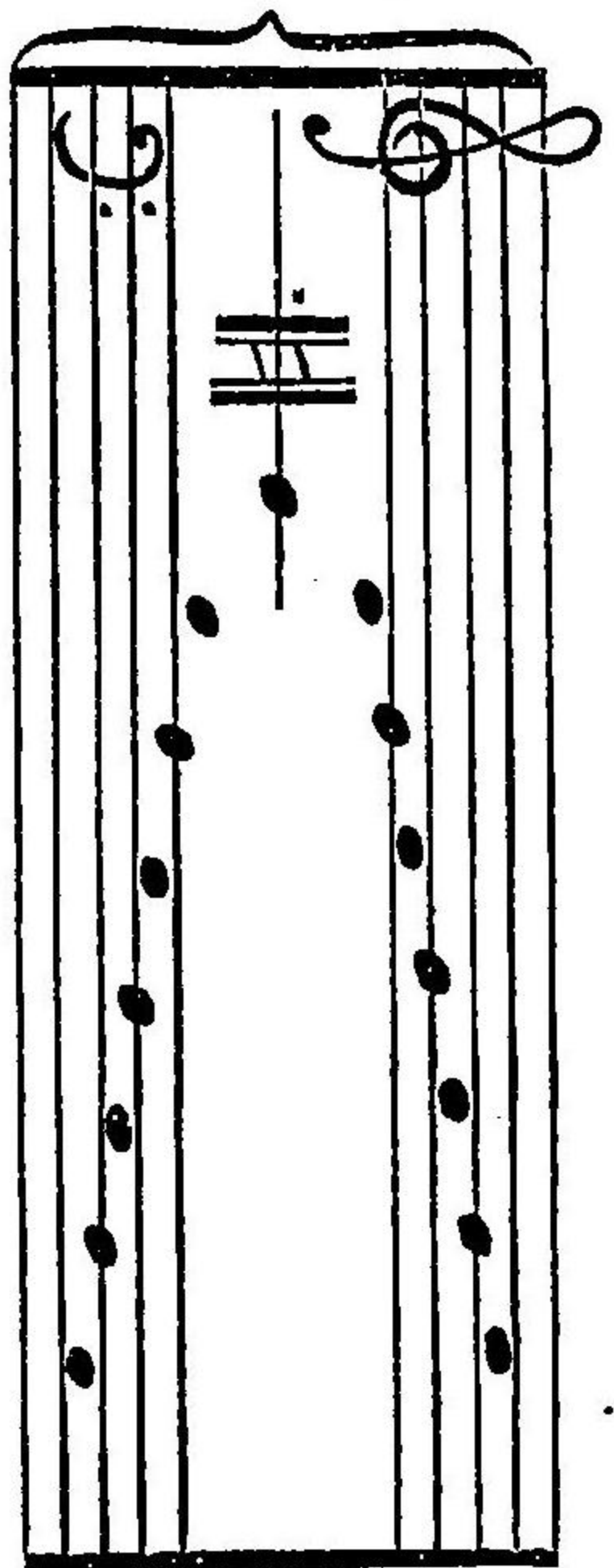
- 第一 高音部記号(俗ト字記号ト稱ス)
- 第二 中音部記号(俗ハ字記号ト稱ス)
- 第三 低音部記号(俗ヘ字記号ト稱ス)

高音部記号即ト字記号ハ譜表第二線上ニ置クヲ成規ナリトス而シテ此ノ線上ニアル音ヲ「ト」音トナス依テ

其ノ他ノ諸音ハ之レヲ標準トシテ數フルキハ其ノ名稱ヲ知ルコトヲ得蓋シ此ノ第二線ハ主号線トナレバナリ
中音部記号即ハ字記号ハ譜表第三線上ニ有テ「ハ」音ヲ確定ス依テ線上ニ有ル者ヲ「ハ」音トナス故ニ其他ノ諸音ハ之レヲ標準トシテ數フルキハ其名稱ヲ知ルコトヲ得蓋シ此第三線ハ主号線トナレバナリ
低音部記号即ハ字記号ハ譜表第四線上ニ有テ二個ノ黒点ヲ以テ四線ヲ分布ス此線上ニ有ル音ヲ「ヘ」音トナス依テ其他ノ諸音ハ之レヲ標準トシテ數フルキハ其

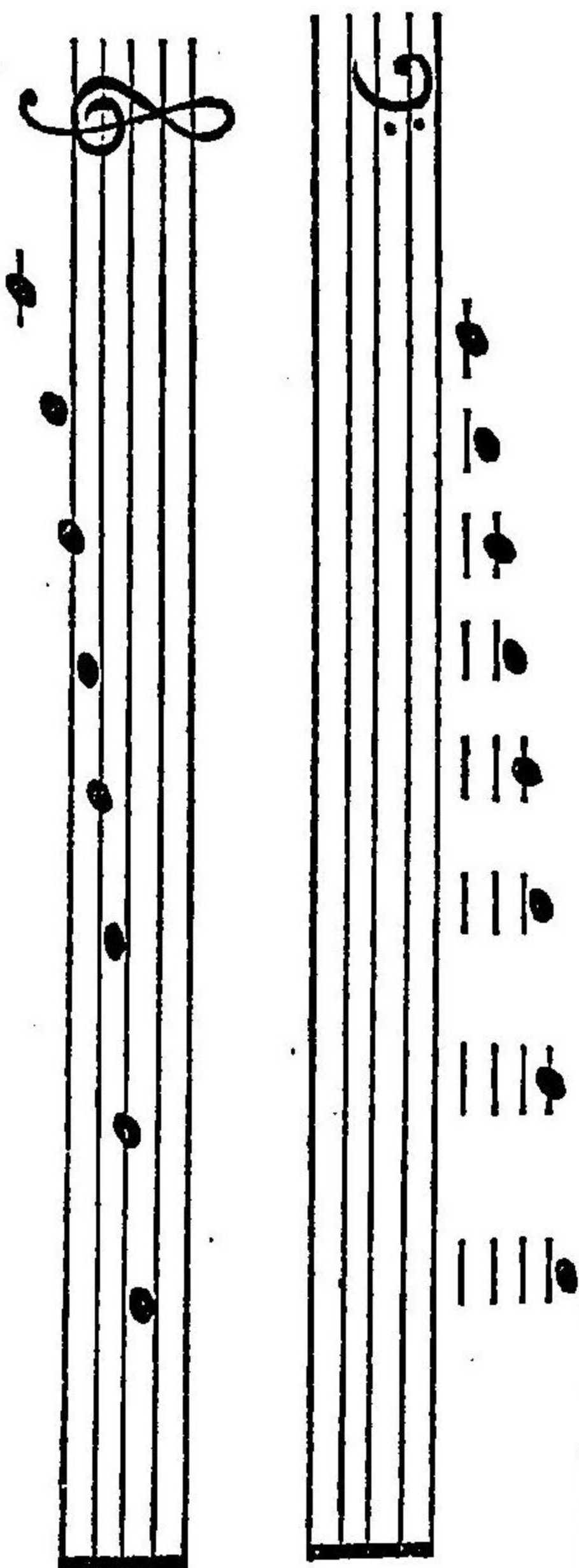
名稱ヲ知ルコトヲ得蓋シ此第四線ハ主号線トナレバナリ
三種記号比較 樂音ハ音度ノ差違ニ隨テ之レヲ大別シテ高低二種トナシ其高キ者ハ高音部記号ヲ用井タル譜表内ニ置ク者トス以上表ハシ示シタル三種ノ記号ハ相去ル五度ニシテ其最モ使用スル者ヲ高低兩部記号ナリトス
大譜表上ニ有テ三種ノ記号ヲ比較對照スルキハ左ノ如シ

圖三第



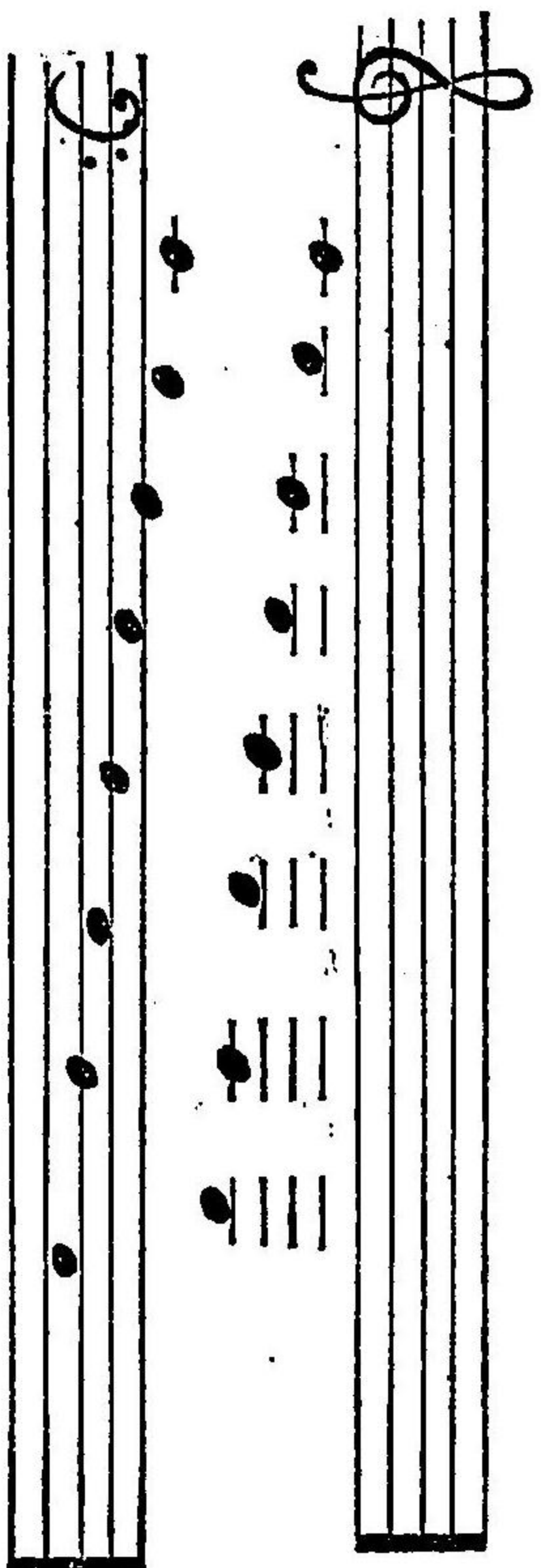
低音部譜表ニハヨリハニ至ル音列ヲ記載シ高音部譜表ト比較對照スル時ハ一ハ短線ヲ以テ表ハシ示ス故ニ讀譜上又ハ記譜上ニ於テ甚々不便ヲ感スルヲ以テ斯ノ如キ場合ニ於テハ高音部譜表ノ者ヲ使用スルヲ以テ便利ナリトス

圖四第



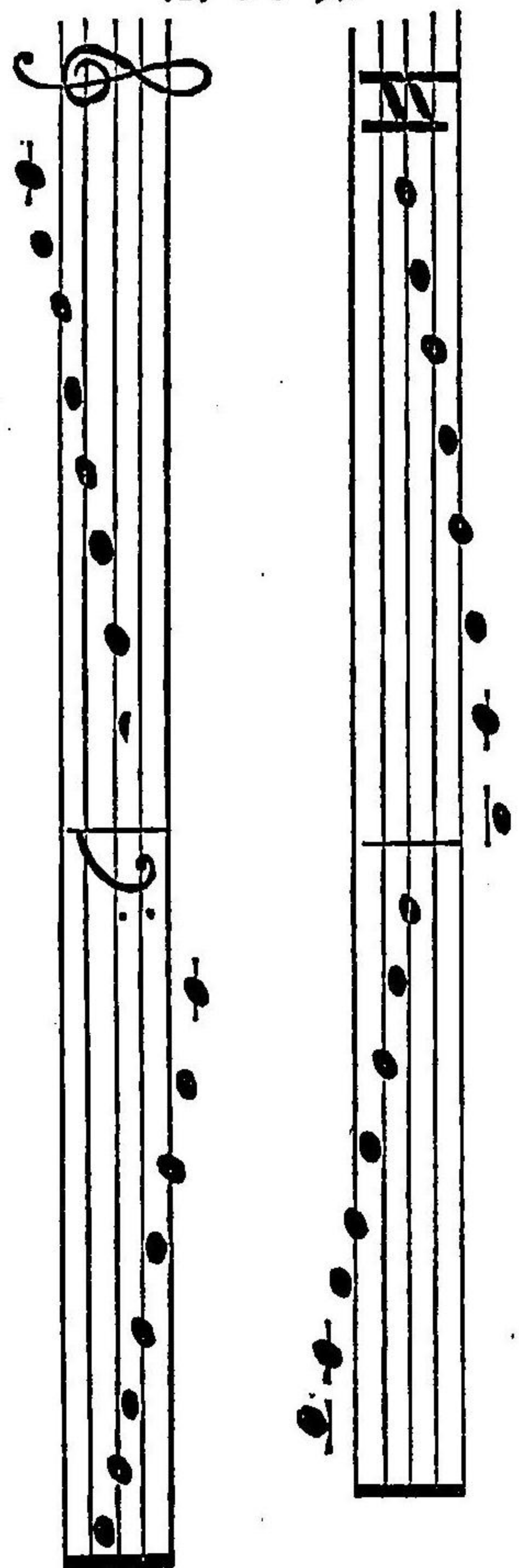
左ニ表ハシ示ス如キ場合ニ於テハ高音部譜表ノ不便ヲ感スルヲ以テ低音部譜表ノ者ヲ採用スルヲ便利ナリトス

圖五第



今左ニハヨリハニ至ル音列ヲ中音部譜表ニ於テ比較
對照スル時ハ左ノ如シ

圖六第



第三章 音符及ビ休止記号

音符ノ効用及組織 音符ハ音樂上ニ於テ必須ナル記
号ニシ聲音ノ繼續及時期ノ長短ヲ有形的ニ表ハシ示

ス者ニシテ譜表ト親密ナル關係ヲ有スル者ナリ聲音
ノ高低ヲ分ツ性質之レヲ調子ト稱シ譜表ヲ以テ之レ
ヲ表識ス又聲音ノ長短ヲ分ツ性質之レヲ拍子ト稱シ
音符ヲ以テ之レヲ表ハシ示ス凡テ音符ハ符頭及ビ符
尾ヨリ成立シタル者ニシテ符頭ニハ黑白ノ二種アリ
符尾ニハ曲鉤アリテ其數ヲ異ニス是聲音ハ時期ノ長
短ヲ異ニスレハナリ
音符ノ種類 音樂上ニ於テ最長音ヲ表ハシ示ス者之
レヲ全音符ト稱ス全音符ハ符尾ヲ有セザル白形情圓
ナリ全音符ノ次ニ位シ音長二分ノ一ヲ表ハシ示ス者

之レナ半音符ト云フ半音符ハ其形全音符ニ符尾ヲ有シタル者ナリ凡テ音符ノ符尾ハ音符ノ位置ニ依テ異ナリト雖モ譜表ノ下部ニ屬スル者ハ上向セシメ譜表三線以上ノ者ハ下向セシムル者トス

音長半音符ノ次ニ當ル者ヲ四分音符トナス其形黑形惰圓ニシテ直線ノ符尾ヲ有ス音長半音符ノ二分ノ一ニ當ル其次ニ位スル者ヲ八分音符トナス四分音符ノ二分ノ一ニ相當シ尾端ニ一鉤ヲ有ス此音符ハ鉤ヲ延長シテ使用スルト屢々アリ

音長八分音符ノ次ニ當ル者ヲ十六分音符ト云フ其形

八分音符ニ類似シ一鉤ヲ加ヘタルモノナリ音長八分音符ノ二分ノ一ニ當ル此音符モ音尾ヲ連結シテ用フルコアリ其他三十二分音符六十四分音符アリト雖モ普通使用スルコ少ク只鉤數ヲ加ヘタル者ナリ今左ニ諸種ノ音符ノ形狀ヲ表ハシ示ス

第七圖



音符ノ時價 凡テ音符ノ時價ハ前音符ノ二分ノ一ニシテ後音符ノ二倍ニ等シキ者ナリ一例ヲ舉クレバ四分音符ハ半音ノ二分ノ一ニシテ八分音符ノ二倍ニ等

シカ如シ以上表ハシ示シタル音符ヲ單音符ト稱ス
 附點音符 其他附點音符ト名ツクル者アリ單音符ノ
 右端ニ一小黒點ヲ附與シタル者ニシテ其一小黒點ハ
 音符ノ二分ノ一ヲ延長スル成規ナリトス假令ハ半音
 符ニ一小黒點ノ附與セラレタル時ハ其黒點ハ四分音
 ナ加ヘタル音長ヲ有スルカ如ク凡テ奇數ノ價格ヲ有
 スル者ヲ名ツケテ復音符ト云フ今左ニ各種音符ニ附
 與セラレタル附點價格ヲ表シ示ス

第八圖



再附點音符 單音符ノ右端ニ二小黒點ヲ附與シタル
 者之レヲ再附點音符ト云フ其効用ハ附點音符ノ二分
 ノ一ヲ延長スル成規ナリトス此音符ハ通常用フル
 少シ

第九圖

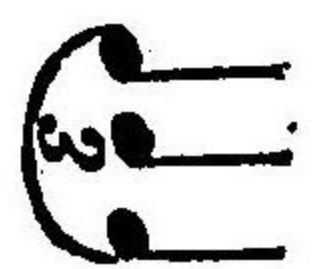


(三線曲線)

變拍子 音樂上ニ單音符以外ニ成立シテ一種殊別ナル
 音符アリ四分音符三個ヲ連結シ四分音符一個ニ相
 當セシメ八分音符三個ヲ連結シテ四分音符一個ニ相
 當セシメテ以テ奏彈スル場合アリ斯ノ如キ時ハ音符

ノ頭ニ(3)ノ如キ記号ヲ附與シテ之レヲ表ハシ示ス其形左ノ如シ

第十圖

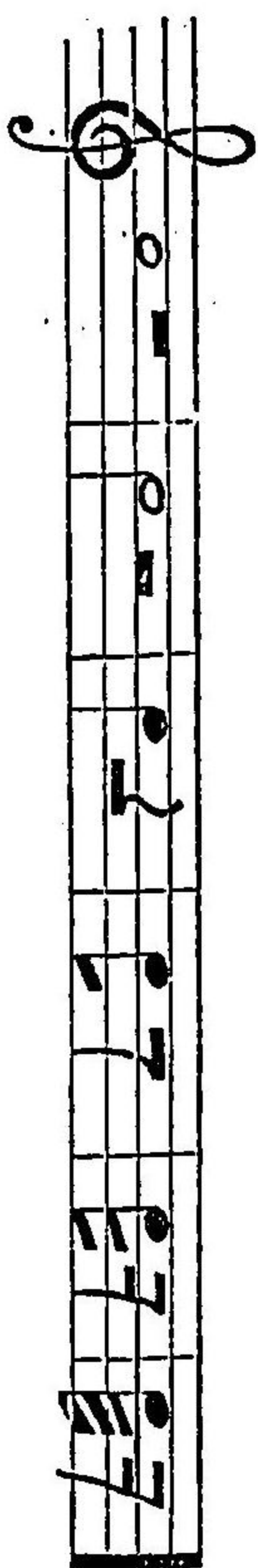


休止音効用 音樂ハ種々ナル聲音ノ配合變化等ヨリ成立シタルヲ以テ樂曲ノ進行上多少ノ小節内ニ於テ聲音ヲ休止ヲ要スルコトアリ是恰モ畫工ノ繪畫ニ濃淡ノ別アリテ以テ風致ヲ添フルト均シク音樂モ聲音ノ繼續シタル際瞬時絶スルキハ大ニ趣味ヲ加フルノ感アレバナリ是ニ於テ聲音黙止ノ長短ヲ表ハシ示ス記

号ヲ名ツケテ休止記号ト云フ

休止符ノ種類 休止符ハ音符ト同一ノ理ニ依テ製定セラレタル者ニシテ其形狀ニ由テ其効用ヲ異ニス普通使用スル處ノ者ヲ六種トナス第一全音休止第二半音休止第三四分音休止第四八分音休止第五十六分音休止第六三十二分音休止符トナス是等ノ休止符ハ音符ト同一ノ價格ヲ有スルモノナリ其形狀左ノ如シ

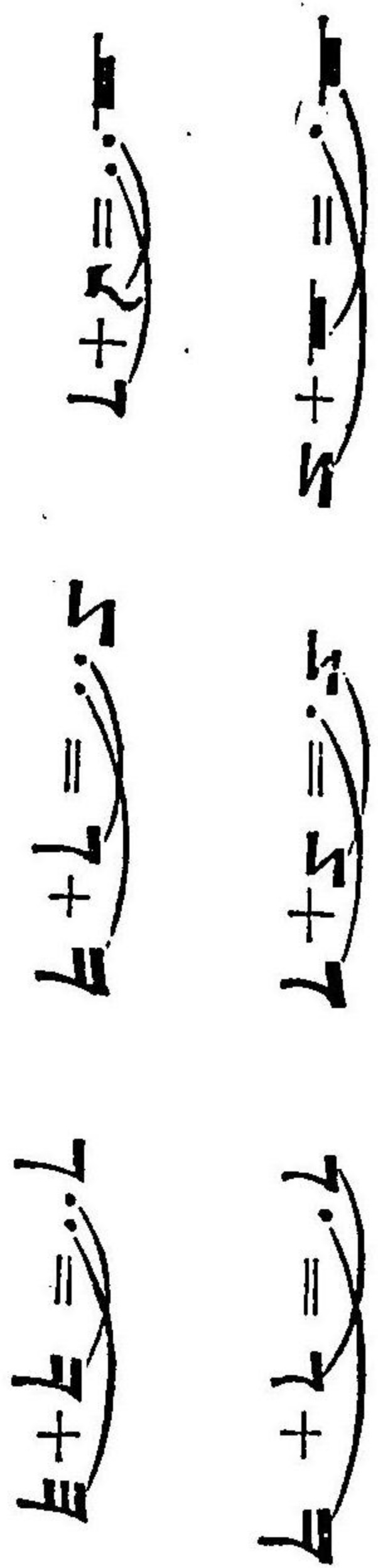
第十圖



附點及再附點 休止符モ音符ト同シク附點及再附點

ヲ以テ表ハシ示スヲアリ其理ハ音符ト同一ニシテ附點ハ附點セラレタル者ノ半格ヲ延長シ再附點ハ附點ノ二分ノ一ヲ延長スル者ナリ其形左ノ如シ

第二十圖



第四章 變化記号

長鍵ノ排列 上文既ニ陳述シタルカ如ク七文字ヲ以テ成立シタル音列ニ一音ヲ増加スル時ハ其數八音トナル之レヲ稱シテ「クスターブ」ト云フ此八音ナル者ハ

兩端ノ音列ニアル一音及八音ノ二音ニ使用スルヲアリ音樂上ニ於テ白鍵即長鍵ノ順序排列ハ左ノ如シ
はる い と へ ほ に は

此等ノ音ハ風琴或ハ洋琴等ニ於テ長鍵即白鍵ヲ奏彈スル者ニシテ凡テ是等ノ樂器ニ於ケル全鍵盤ノ白鍵ハ皆此ノ順序ヲ以テ反覆重用シタル者ナリ
短鍵ノ包括 鍵盤上ニ於テ短鍵即黑鍵ハ二個及三個ノ排列ヨリ爲ル故ニ二個ノ短鍵ノ中間ニ有ル長鍵ヲ「三音」トナス故ニ此二音ヨリ起算シテ順次計フル時ハ其他ノ諸音ハ容易ニ知ルヲ得故ニ短鍵二個ノ包括

ハ「ば」に「ほ」ノ三音ニシテ三個ノ包括ハ「へ」といろ「ノ」四音ナリ故ニ鍵盤ノ正中ニアル者ヲ八音トナス
 此「は」音ナル者ハ中音部譜表ノ「ば」号ニシテ是レヨリ右方ニ向テ初メテ得ル「ト」音ヲ高音部譜表ノ「ト」号ナシ又左方ニ向テ得ル「へ」音ヲ低音部譜表ノ「へ」号トス
 嬰及ビ變 鍵盤上ニアル短鍵ヲ嬰或ハ變ト稱ス此短鍵ナル者ハ某音ナシテ半音上進セシメントスルカ又ハ半音下降セシメント欲スル時用ヒラレタル名稱ニシテ假令ハ「ば」ナル音ヲ半音上昇セシメント欲スルキハ其直上ニアル黒鍵ヲ奏彈シ之レヲ名ツケテ嬰はト

云フ又「ろ」ナル音ヲ半音下降セシメント欲スルキハ其直下ニアル短鍵ヲ彈シ之レヲ變ルト云フ故ニ短鍵ナル者ハ長鍵ヨリ關係ヲ取ルキハ二個ノ名稱ヲ有スル者ナリ今左ニ鍵盤上ニアル各種ノ音ヲ表ハシ示ス

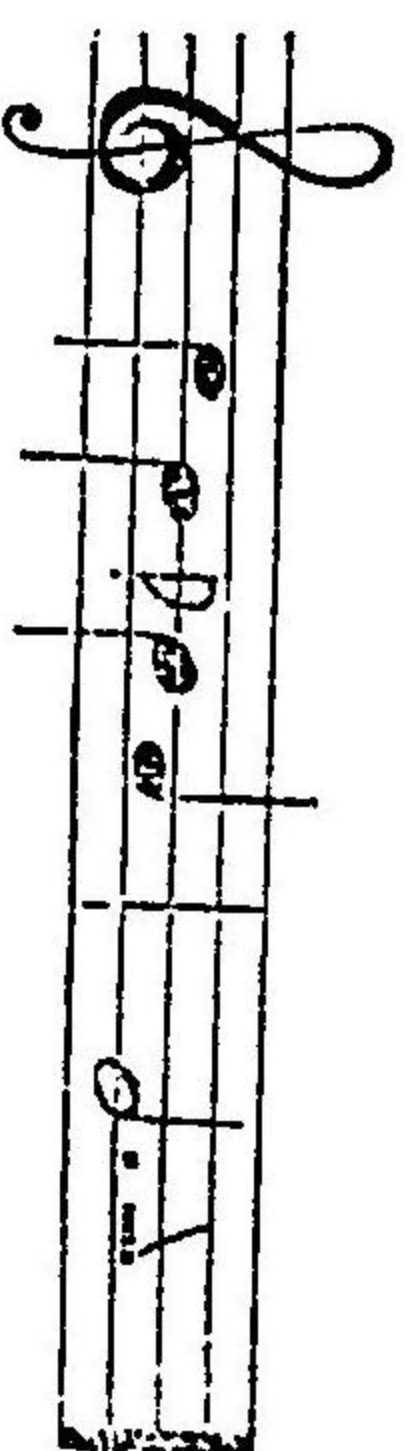
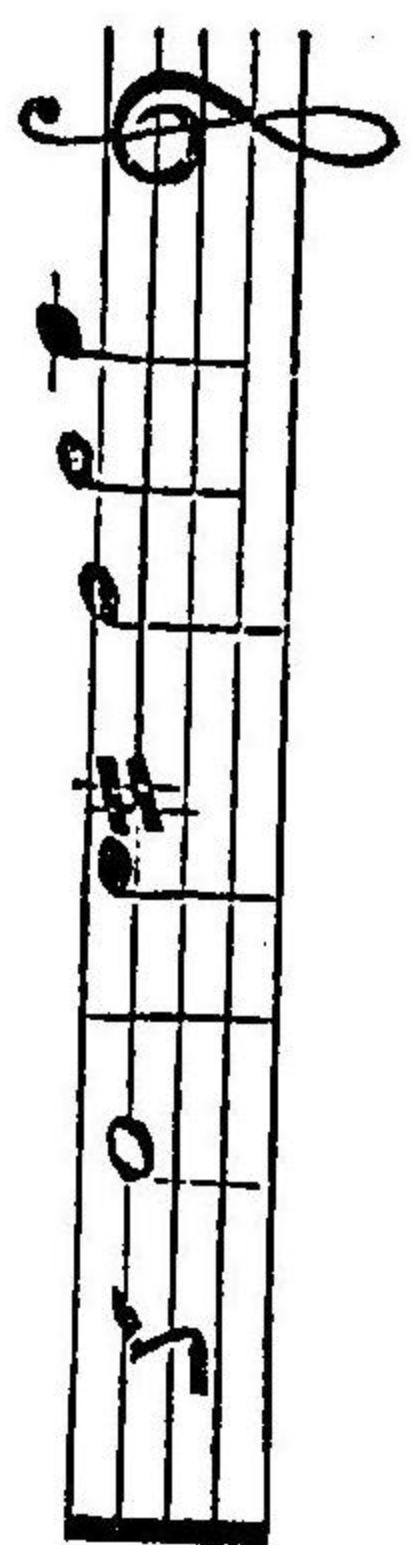
圖三十第



嬰号及ビ變号 嬰變ナル語ハ必竟聲音ヲ上降スルキ用フル名稱ニシテ之レカ嬰号トシテハ井ノ如キ記号

ヲ用ヒ變号トシテハトノ如キ記号ヲ用フ今此等ノ記号ヲ使用シテ譜表上ニ表ハシ示ス時ハ左ノ如シ

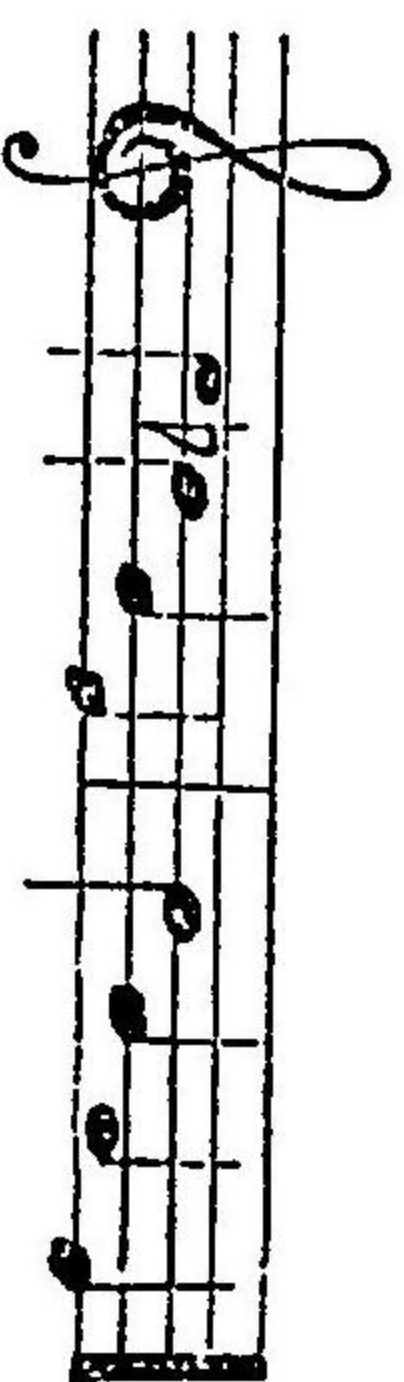
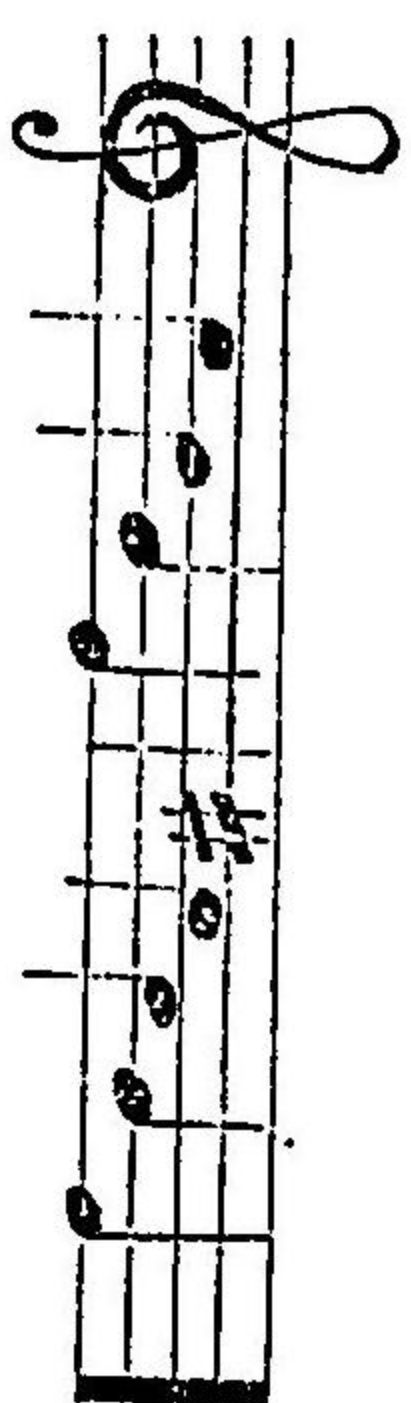
圖四十第



嬰變ノ効用 凡テ嬰及ビ變ノ記号ハ附與セラレタル音符ヲ限り功用ヲ有スル者ニシテ凡テ一小節内ヲ限リトス若シ一小節内ニ於テ附與セラレタル音符ト同一ノ者アル時ハ同シク功用ヲ有スル者ナリト雖モ他ノ小節ニ有テハ無効ナル者トス故ニ此等ノ記号ハ前音ニ遡リテ効用ヲ有セス依テ之レヲ名ツケテ臨時用

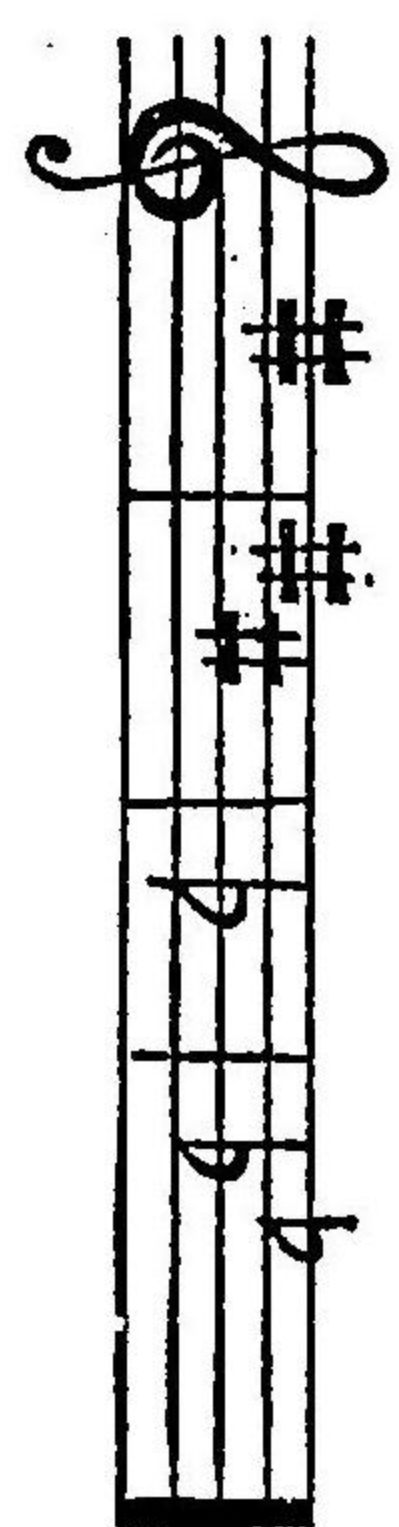
嬰若シクハ變号ト稱シ各調ニ固有スルモノト異ナルヲ示セリ左ノ如シ

圖五十第



此ノ記号ハ獨ニ或ル一小節内ノミナラス全小節内ニ効用ヲ有スル場合ニ於テハ調子記号ト名ツケテ音部記号ノ直後ニ現出スルコトアリ如此キ場合ニ於テハ其本曲ノ初メヨリ終リニ至ルマテ此記号ノ附與セラレタル音名ニ限り全小節内ニ有効ナル者トス假令ハ左ノ如シ

第六十圖



注意 右圖ノ如キハ音名「ヘ」音ノ處ニ嬰号ノ附與セラレタル者ナレバ其音名ニ當ル音符ハ皆有効ニシテ半音上進シテ彈スル者トス又變ノ記号ハ第四線上即ろ音ノ處ニ有ルヲ以テ是又終始其音名ニ限り其音ヲ半音下降シテ彈スル者トス

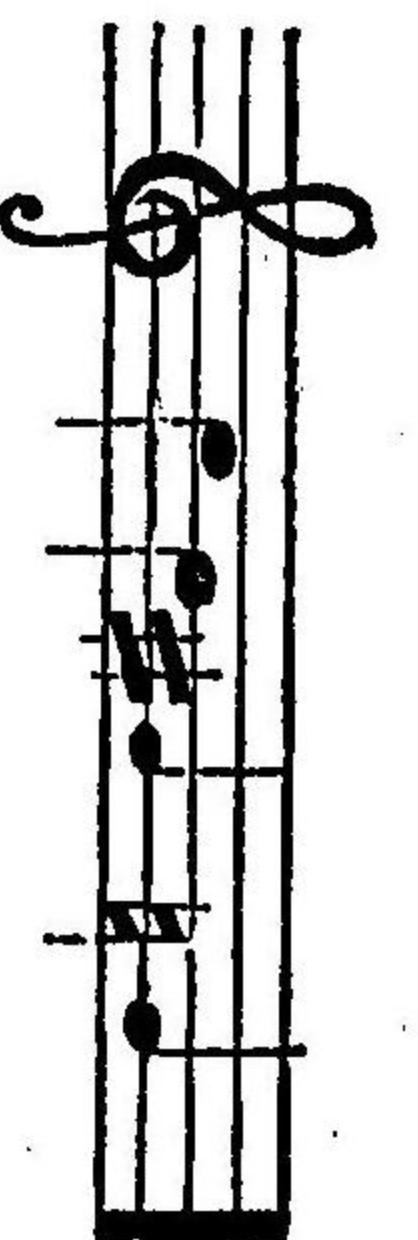
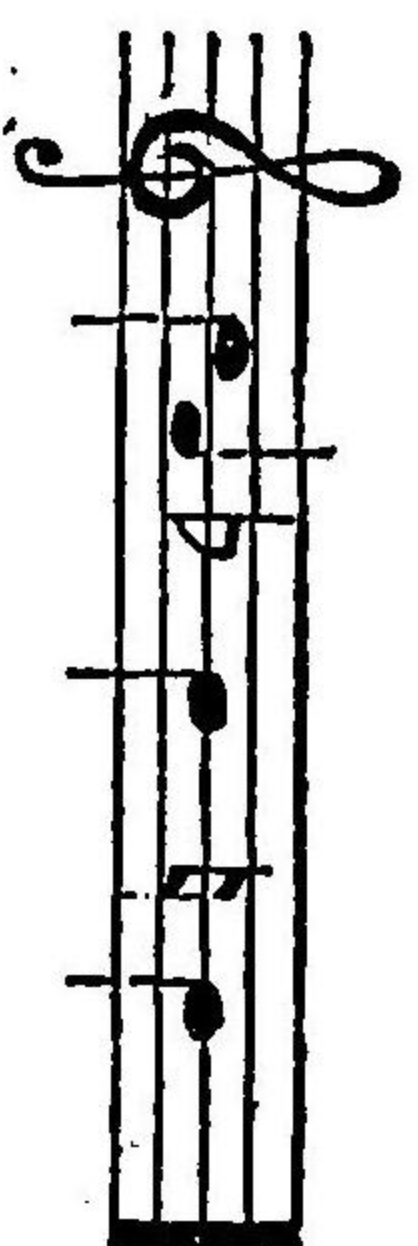
本位記号 嬰或ハ變ヲ以テ聲音ノ變化シタル者ヲ其固有ノ聲音ニ復還セシメント欲スルキハ本位記号ト名ツクル者ヲ以テス此記号ハ嬰變兩記号ニ對シ二種

ノ効用ヲ有ス

第一 嬰音トナリタル聲音ヲ半音下降セシメ其固有ノ音トナス

第二 變音トナリタル聲音ヲ半音上進セシメ其固有ノ音トナス

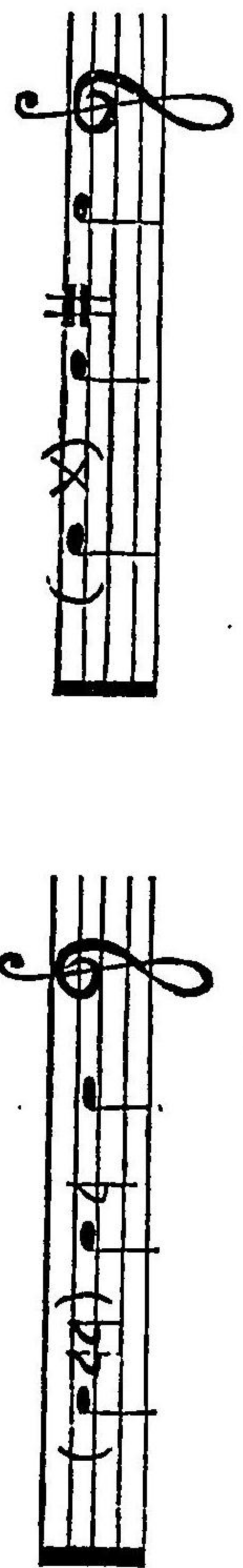
第七十圖



重嬰及重變 此等ノ記号ハ一旦嬰或ハ變ニ依テ昇降セシメラレタル音ヲ更ニ半音上進シ又ハ下降セシメント欲スルキ用フル者ニシテ重嬰ノ記号トシテハ×

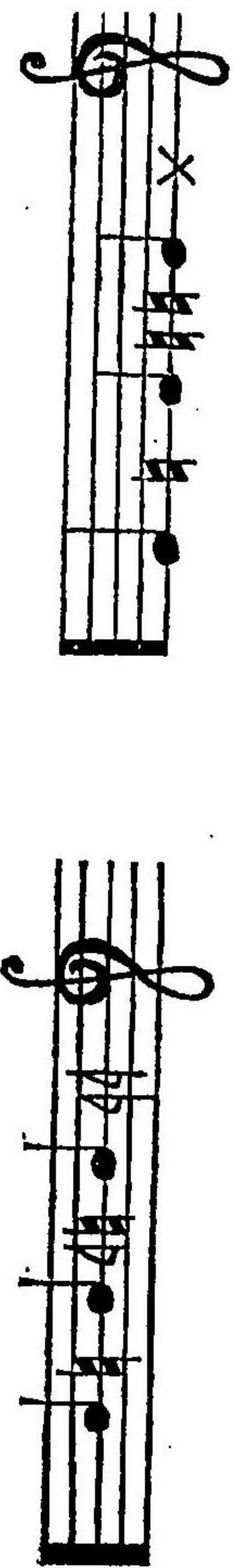
ノ如キ者ヲ用ヒ重變ノ記号トシテハbbノ如キ記号ヲ用フル者トス譜表上ニ於テ表ハシ示スキハ左ノ如シ

圖八十第



今重嬰及重變トナリタル處ノ音ハ直ニ本位ニ返還スルヲ能ハス嬰位ニ復シ而シテ後白鍵タルヘキ者トス重變ニ於テモ然リトス

圖九十第



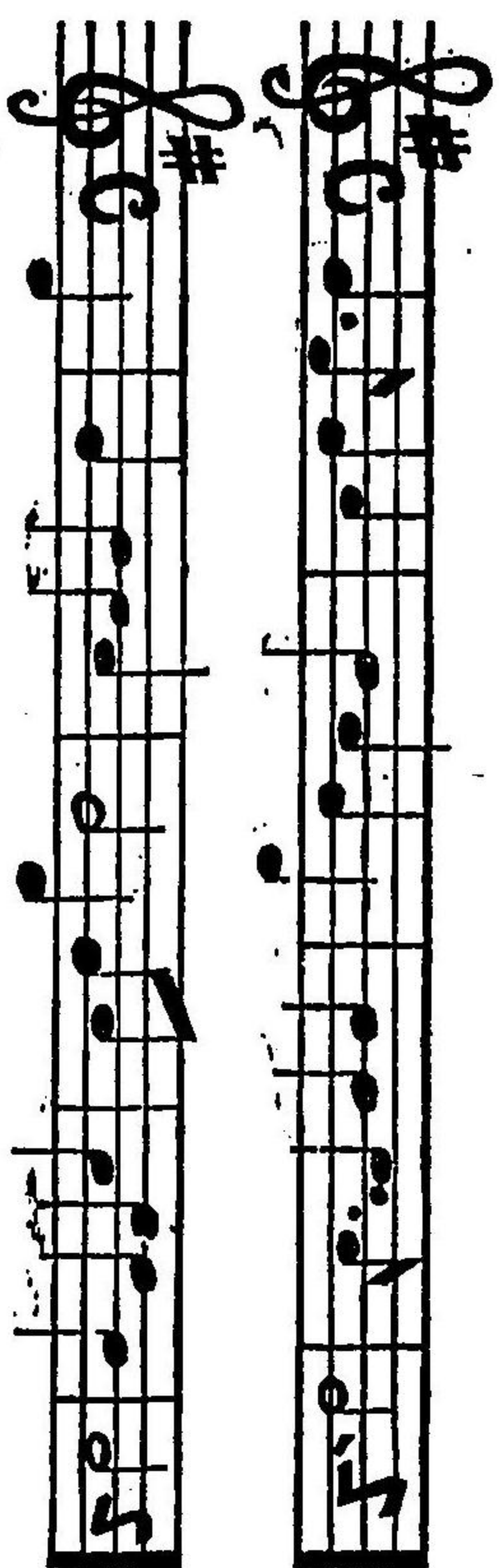
第五章 小節及ビ拍子

小節ノ効用 小節ハ樂曲ノ句節ヲ正シ以テ諸音ニ強弱ヲ分配センカ爲設ケラレタル者ニシテ何レモ分ツテ拍子ノ等一ナル部分ト爲ス此部分ヲ稱シテ小節ト云フ

小節ノ價格 小節ハ凡テ譜表ノ首端ニ記載セラレタル拍子ニ符合スル某數ノ價格ヲ有セサルヘカラス旋律ノ便宜ニヨリ二分音符四分音符或ハ八分音符等ヲ以テ成立スルコトアリ然レモ常ニ全小節内ノ拍子ハ其符數ノ多少ヲ問ハス一進動ノ連續スル間ハ盡ク均一

ノ拍子ヲ包有セサルヘカラス
 小節ノ種類 小節ニ二種アリ正格小節及變格小節是
 ナリ正格小節トハ一小節内ニ規則正シク同一ノ價值
 ナ有スル者ヲ云フ變格小節トハ結尾ニ於テ四分音符
 若シクハ他ノ種類ノ音符ヲ以テ表ハシ示サレタルモ
 ノヲ云フ假令ハ左ノ如シ

圖十二第



拍子ノ効用種類 聲音ノ進行ニ關シ是レカ緩急秩序
 ナ指定スルモノ之レヲ拍子ト云フ拍子ハ大別シテ普
 通拍子及ヒ三拍子ノ二種トナス
 普通拍子 此拍子ハ各小節内ニ於テ全音符若クハ二
 分音符其他之レニ適當スル拍數ヨリ成立シタル者ヲ
 云フ常ニ譜表ノ首端即音部記号ノ直後ニ半圓形Cノ
 記号若シクハ $\frac{4}{4}$ ナル數字ヲ以テ表ハシ示ス

注意Cナル記号ヲ用フルニ當テ古今二説アリ今
 代ノ説ニ由レバCOMMON-TIMEナル首字ヨリ起リ
 又古説ニ由レバ往昔○ノ記号ヲ用ヒシヲ以テ

CIRCLEナル首字ヨリ起レリト云フ縦線ヲ以テ貫キタル半圓形ノ記号ハ(即ち)急速ナル進動ヲ指示スル者ニシテ之レヲ「アラブレー」即急拍子ト云フ是二分音符一個ニ相當スル義ニシテ其奏彈上ニ於テモ自然急速ナラサルヘカラス

其他ノ拍子ハ譜表ノ首ニ於テ層重シタル數字ヲ以テ指示ス $\frac{2}{4}$ ヲ以テ表ハシ示サレタル者ハ普通拍子ト稱シ四分音符二個若シクハ是レト同一ナル價值ヲ有スル者ヨリ成立シタル者ニシテ下方ノ數字ハ音符ノ種類ヲ示シ上方ノ數字ハ音符ノ數ヲ表ハシタル者ニ

シテ四分ノ四拍子ト共ニ今代音樂ニ於テ屢々使用セララル、者ナリ

三拍子 此拍子ニ屬スル者ヲ舉クレハ左ノ如シ

第一 一小節内ニ於テ二分音符三個若シクハ是レト同一ノ價格ヲ有スルモノ

第二 一小節内ニ於テ四分音符三個若シクハ是レト同一ノ價格ヲ有スルモノ

第三 一小節内ニ於テ八分音符三個若シクハ是レト同一ノ價格ヲ有スルモノ

集合三拍子 四分音符三個八分音三個ヲ包有スル二

小節ヲ合一シテ一小節ヲナスモノ之レヲ集合三拍子ト云フ蓋シ集合ノ文字ハ二個合一ノ義ナリ通常使用スル處ノ者ヲ舉クレハ左ノ如シ

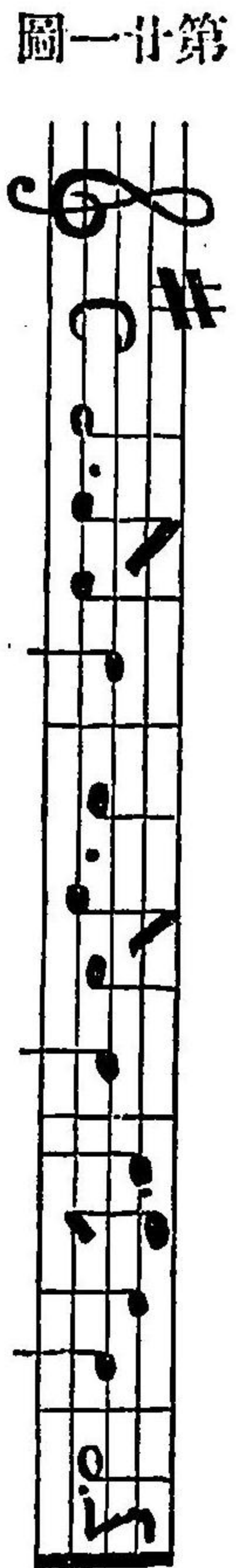
第一 一小節内ニ於テ四分音符六個若シクハ是レト同一ノ價格ヲ包有スルモノ

第二 一小節内ニ於テ八分音符六個若シクハ是レト同一ノ價格ヲ包有スルモノ

第三 一小節内ニ於テ八分音符十二個若シクハ是レト同一ノ價格ヲ有スル者ナリト雖モ近代音樂ニハ使用セス

四拍子(普通拍子) 卽四分ノ四ヲ以テ組織セラレタル

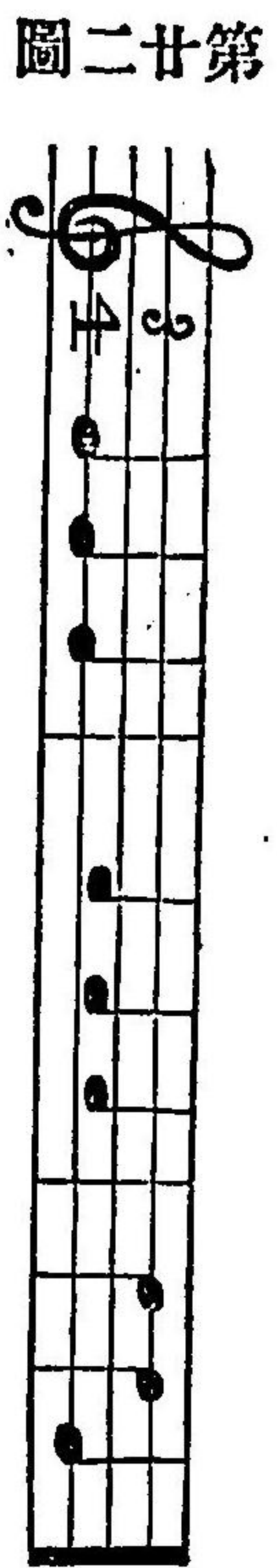
樂曲ノ縱線ハ其曲ノ進行ヲ小節ニ等分スルノミナラズ強聲タルヘキヲ指示スル者ナリ斯ノ如キ場合ニ於テハ第一音及ビ第三音ハ強聲ニシテ第二及ビ第四ハ弱聲ナリトス依テ音樂上此強聲ヲ指シテ強聲部ト云ヒ弱聲ヲ稱シテ弱聲部ト謂フ故ニ此四拍子ニ於テノ拍法ハ下拍左拍右拍上拍ノ四拍ナリトス



圖一廿第

三拍子 此小節ニ於テハ第二及第三音ハ弱聲ニシテ

第一音ハ強聲ナリ然レモ第三音ハ第二音ニ比較スレバ少シク強聲ナリトス此拍法ハ下拍左拍上拍ノ三拍トナス



六拍子 八分音符六個ノ拍子ニ於テハ第一音及第四音ノミ強聲ニシテ其他ハ凡テ弱聲ナル者トス拍法ハ三拍子ヲ反覆重用スルモノトス

第六章 雜記号

雜記号 上章陳述シタル諸種ノ記号ノ如ク斷然タル

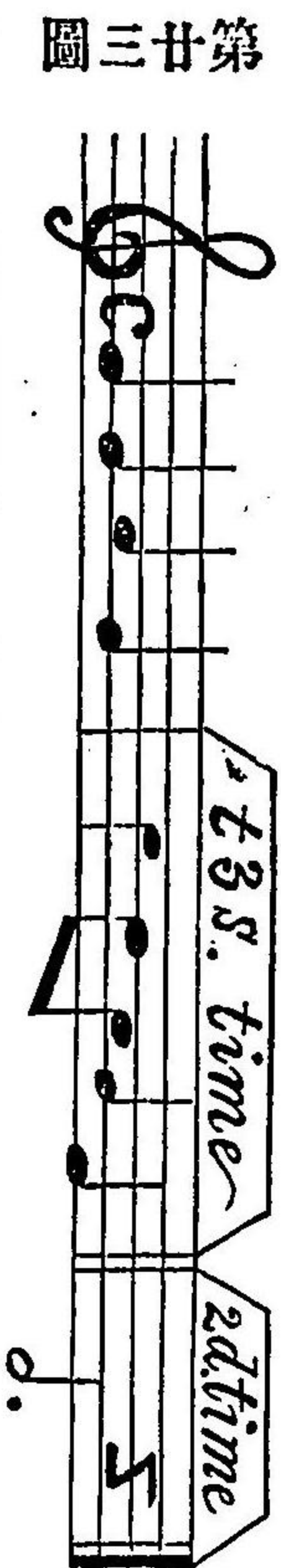
一種ノ分類ト成スヘカラサル記号ヲ雜記号トシテ爰ニ掲載ス故ニ雜記号ノ部分ニ編入スヘキ者ヲ單縱線復縱線連合線反覆記号延聲記号垂點星點及強弱記号ナリトス
單縱線ハ樂曲ノ進行上一小節若シクハ數小節ニ等分スル所ノ縱線ナリ即小節ヲ形作フル線ヲ云フ此記号ハ常ニ強聲タルヘキヲ示スヲ以テ日耳曼ニテハ樂理上強聲記号トシテ使用セラレタリ單縱線ノ内側ニ於テ一行ノ點線ヲ有スルキハ此中間ニアル小節ハ凡テ反覆奏唱スヘキ者トス又此單縱線ノ内部ニ附與セ

ラレタル點ノ有無ニ關セス往々譜表上ニ(BIS)即二回ト云フ義ナル文字ヲ以テ表ハシ示スコアリ

復縦線 此記号ハ一樂曲ノ進動ノ結尾又ハ言辭上ノ大段落ヲ示ス爲使用セラル、記号ニシテ此記号ノ傍側ニ附與セラレタル黑點ハ曲首若シクハ復縦線以下ヲ再彈スヘキ者トス

延聲記号ハ樂曲ノ定規アル拍子ニ悖リ其記号ノ附與セラレタル部分ニ於テ聲音ヲ延長スヘキ所以ヲ示ス其記号トシテハ(・)ノ如キ者ヲ用フ「ボルデン」氏ハ延聲記号ヲ特長記号ト云ヘリ

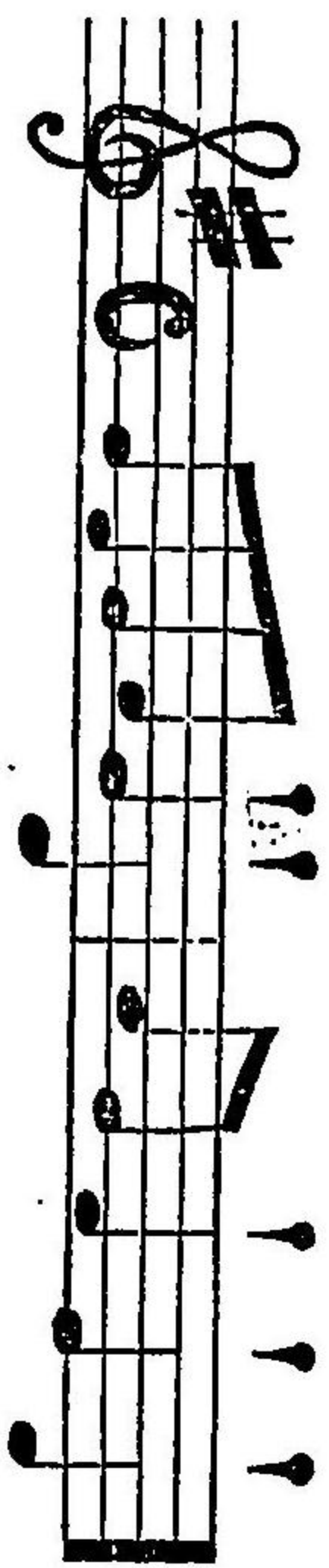
反覆記号 此記号ハ演曲者カ曲節ヲ反覆スル爲戻ルヘキ場所ヲ指定スル所以ニシテ譜表ヲ切斷スルニ條ノ傍ニ點線ヲ附シ或ハ此部分ノ初メニ於テ必ノ如キ及ヒALLEGROナル語ヲ附記スルコトアリ又一樂曲ノ首メノ進動ヲ反覆セント欲スルキハ「ダカポ」即DCヲ最後ノ小節上ニ附記ス然スルキハ最後ノ小節ニ於テFINEナル語又ハ延聲記号ヲ附記ス又最後ノ小節ヲノミ再奏スルコトアリ然スルキハ左ノ如シ



第廿三圖

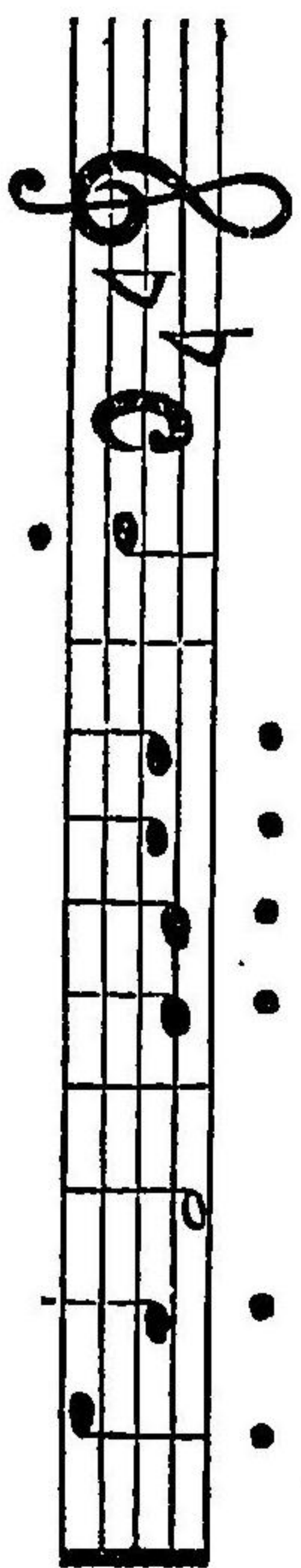
垂點 此記号ハ音符ノ上方或ハ下方ニ附與シタル長
 點ニシテ有鍵樂器ニテ奏スルキハ鍵面ヨリ指頭ヲ高
 ク舉ケ極メテ短速ニ且鮮明ニ奏スヘキ者トス音符ノ
 時價ハ其四分ノ一二相當ス例令ハ四分音符ニ附與セ
 ラレタル垂點ハ十六分音符ニ宜シク八分音符ニ附與
 セラレタルキハ三十二分音符ノ比較ヲ以テ唱奏スヘ
 シ其形狀左ノ如シ

圖四廿第



星點 此記号ハ垂點ト同シク音符ノ上方若シクハ下
 方ニ附與セラレタル圓點ニシテ切々ニナルヲ主トス
 有鍵樂器ニ於テ奏彈スルキハ鍵面ヨリ指頭ヲ密接セ
 シメス垂點ノ如ク高ク揚ケザル者ニシテ靜和ニ運用
 スルヲ要ス此圓點ノ繼續ハ其附與セラレタル音符ノ
 半額ト見做シテ可ナリ例令ハ四分音符ナルキハ八分
 音符八分音符ナルキハ十六分音符ノ價格ノ如シ其形
 狀左ノ如シ

圖五廿第



強弱記号 音樂上ニ使用スル強弱記号ヲ列舉スルキハ左ノ如シ

第一 強記号トシテ使用セララル、モノハ右方ニ向テ開ク角度ニシテ聲音ノ弱小ヨリ強大ニ移ル所以ナリ其形<ノ如シ

第二 弱記号ハ前者ト相反シ左方ニ向テ開ク角度ニシテ聲音ノ強聲ヨリ弱聲ニ轉スル記号ナリ其形>ノ如シ

第三 一個若シクハ數個ノ音符ニ急強ナル勢力ヲ與ヘント欲スルキハ其音符ノ上方若シクハ

下方ニハノ如キ記号ヲ附與ス

第四 菱形記号ハ強弱二記号ヲ合併シタル者ニシテ始メ弱聲ニシテ中央ニ至ル最大強トナリ遂ニ減却シテ弱聲トナル其形<>ノ如シ

強弱記号ハ記号ヲ以テ表ハシ示スヲアリト雖モ又術語ヲ以テ指定スルヲアリ今左ニ其要領ヲ揭示ス

第一 音量ノ強キモノハ FORTE ナル語ノ畧字ヲ以テ表ハシ示ス

第二 音量ノ弱キ者ハ PIANO ナル語ノ畧字ヲ以テ表ハシ示ス

第三 音量ノ甚タ強キ者ハ FORTISIMO ナル語若シ
クハ其畧シナル文字ヲ以テス

第四 音量ノ甚タ弱キ者ハ PIANISSIMO ナル語若シ
クハ其畧字ヲ以テ表ハシ示ス

第五 音量ノ半強ナル者ハ MEZZO-FORTE ナル語若
シクハ其畧字ヲ以テ表ハシ示ス

第五章

速度及ヒ勢力ニ關スル語類

音樂上ニ使用スル語類多クシテ委ク記載スルコト能
ハスト雖トモ普通用ヒラル、者ヲ列舉スレハ左ノ如
シ

- Adagio 急速ナラズ
- Andante 緩漫ニ且鮮明
- Andantino アンタントヨリ稍速ニ
- Allegretto アレグロヨリ聊緩ニ
- Allegro 神速快活ニ
- Lento 緩カニ
- Largo 最モ緩漫ニ
- Larghetto 緩漫ナル拍子
- Prest 速ニ
- Prestissimo 甚タ速ニ
- Moderat 中庸ニ
- Commodo 緩漫ニ

Atempo.....正シキ拍子

Accelerand.....漸次急速ニ

Reterdand.....漸次徐々ニ

Piano.....弱ク

Pianissimo.....甚々弱ク

Forte.....強聲ニ

Fortissimo.....甚々強ク

Decrescend.....漸次弱聲

Crescendo.....漸次強聲

Sforzando.....一舉ニ強聲ニ

短第六度 此音程ハ全音三個及ヒ半音二個ヲ含有シタル者ヲ云フ假令ハ「ほ」ヨリ「は」ノ如キ者ヲ云フ
長第七度 此音程ハ七度ヨリ成立シ五全音及ヒ一半音ヲ含有シタルモノヲ謂フ此音程ハ完全第五度及ヒ長第三度ノ二個ニ分類スルヲ得假令ハ「は」ヨリ「ろ」ノ如キ者ヲ云フ
短第七度 此音程ハ七度ヨリ成立シ兩端二音間ニ四全音及ヒ二半音ヲ含有スルモノヲ云フ此音程ハ完全第五度及ヒ短第三度ノ兩音程ニ分類スルヲ得短第七度ハ「と」ヨリ「へ」ニ至ルカ如シ

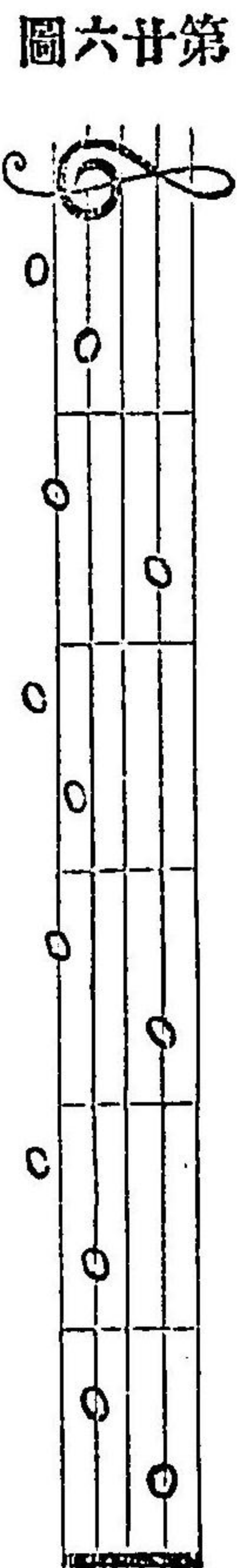
中正八度音程 此音程ハ八度ヨリ成立シ全音五個及
 ビ半音二個ヲ包有シタルモノナ云フ此音程ヲ分類ス
 ルキハ完全第五度及ヒ完全第四度音程トナス事ヲ得
 八度音程トハ「は」ヨリ「ほ」ニ至ルカ如シ

第二章 音程ノ轉回

音程ノ轉回 音程ノ下音ヲ一八音上方ニ轉シ或ハ上
 音ヲ一八音下音ニ轉スル者ニシテ此變化ヲ名ツケテ
 音程ノ轉回ト云フ此變化ハ單音程エノミ施シ得ルモ
 ノナリ轉回音程ニ於テハ完全音程ハ常ニ完全ナル名
 稱ヲ維持スルト雖モ長音程ハ變シテ短音程トナリ短

音程ハ變シテ長音程トナル假令ハ左ノ如シ

長第二度音程ハ變シテ短第七度音程トナル
 短第七度音程トナル
 短第三度音程ハ變シテ長第七度音程トナル
 完全第四度音程ハ變シテ完全第五度音程トナル



基礎音程ヨリ轉回音程ニ變化シタル者左ノ如シ

基礎音程 轉回音程

- | | |
|-----------|-------|
| (一) 第一度音程 | 第八度音程 |
| (二) 第二度音程 | 第七度音程 |
| (三) 第三度音程 | 第六度音程 |
| (四) 第四度音程 | 第五度音程 |

- (五) 第五度音程 第四度音程
- (六) 第六度音程 第三度音程
- (七) 第七度音程 第二度音程
- (八) 第八度音程 第一度音程

以上ノ轉回音程ヲ知リシ後是レニ長短及ヒ其他ノ名稱ヲ附與セント欲セハ左ニ示セル原則ヲ服膺スヘシ

- (1) 原音程ノ長ナル時ハ轉回音程ハ短トナル
- (2) 原音程ノ短ナル時ハ轉回音程ハ長トナル
- (3) 原音程ノ増ナル時ハ轉回音程減トナル
- (4) 原音程ノ減ナル時ハ轉回音程増トナル

(5) 原音程ノ完全ナル時ハ轉回音ハ同シク完全

協和音不協和音 音程ノ變化ヲ和聲的變化ヨリ論スルトキハ凡テ人耳ニ和諧ナル感情ヲ訴フル處ノ者ヲ協和音ト稱シ不快ナル感情ヲ與フル者ヲ不協和音ト稱ス凡テ協不協ノ文字ハ專ラ和聲上ニ使用スル者ナリト雖トモ旋律上音程ヲ區分スルニ當テ用フル事屢々アリ

協和音程 此音程ニ屬スル者ヲ舉クレバ中正八度音程完全第五度完全第四度長短三度音程及ヒ長短六度音程トナス此等ノ音程上ヨリ發スル聲音ハ完全壯美

ニシテ人耳ニ爽快ナル感情ヲ與フルヲ以テ協和音程トナスニ至レリ

不協和音程 此音程ニ編入スヘキ音程ハ長短二度音程長短第七度減第五度及ヒ増四度音程ノ如キ者ヲ云フ此等ノ音程上ヨリ發聲スル聲音ハ人耳ニ訴ヘテ和諧壯麗ナラス依テ之レヲ名ケテ不協和音程ト云フ

協和音程ノ分類 協和音程ハ更ニ細分シテ完全不全ノ二種トナス中正第八度及完全第四第五ノ音程ハ完全協和音程トナシ此等ノ諸音程ハ一定シテ變化スルヲナシ三度及六度音程ノ如キハ之レヲ協和音程中

ノ不完全協和音程ト稱ス是等ノ音程ハ長ヨリ短短ヨリ長ニ變シ而シテ猶協和音程ナレハナリ

第三章 音階

音階 樂音ノ順次繼續シテ八音ニ渉ル者之レヲ稱シテ音階ト云フ近代音樂上ニ於テ使用スルモノ二種アリ全音階及半音階是ナリ全音階トハ基礎七個ノ音中何レヨリモ之レヲ構成シ得ルモノニシテ二個ノ半音及ビ五個ノ全音ヲ以テ成立ス左ニ七種ノ旋法ヲ表示ス

(五)

(六)

(七)

Detailed description: This block contains three musical staves, each starting with a treble clef. Staff (五) shows a sequence of notes: G4, A4, B4, C5, with a slur over B4-C5 and a 1/2 note value above. Staff (六) shows: G4, A4, B4, C5, with a slur over A4-B4 and a 1/2 note value below. Staff (七) shows: G4, A4, B4, C5, with a slur over A4-B4 and a 1/2 note value below.

圖七廿第

(一)

(二)

(三)

(四)

Detailed description: This block contains four musical staves, each starting with a treble clef. Staff (一) shows: G4, A4, B4, C5, with a slur over B4-C5 and a 1/2 note value above. Staff (二) shows: G4, A4, B4, C5, with a slur over A4-B4 and a 1/2 note value above. Staff (三) shows: G4, A4, B4, C5, with a slur over A4-B4 and a 1/2 note value below. Staff (四) shows: G4, A4, B4, C5, with a slur over B4-C5 and a 1/2 note value above.

右ニ示セル音階ハ希臘古代ノ音階ニシテ近代音樂上ニ使用スルモノハ七音階中只第一種及第七種ノ兩種アルノミ是レヲ稱シテ全音階的長音階ト云フ

附言 長音階ト云フ名稱ヲ附與スル理由ハ主調音ヨリ第三度ニ至ル音程ノ長音程ナルヲ以テナリ

音階ノ距離 音階ハ皆均一ナル巨離ヲ成立スルモノニ非ラズ廣狹ノ差違アリ廣キ處ヲ全音ト稱シ狹キ處ヲ半音ト稱ス故ニ全音階的長音階ハ五個ノ全音ト二個ノ半音トヨリ成立シ諸音階ノ模範トナル者只一ノ

「ハ」調音階(第七種)有ルノミナリ圖解ヲ以テスレバ左ノ如シ

圖八廿第

DO	1	1/2
SI	7	/
LA	6	/
SOL	5	/
FA	4	1/2
MI	3	/
RE	2	/
DO	1	/

附言 古代ニ於テ階名ニ附與セラレタル名稱ハ1ヨリ6即DOヨリLAノ六語ヲ以テセリ抑階名ハ千〇二十二年ノ頃タスカニアレツヅノ僧ギド一氏ノ發明シタル者ニシテ其間弟子カ之レヲ稱

シテ六連音ト名ケシ者ナリシカ佛國ニ於テSIナル一語ヲ加ヘ之レヲ七連音ト稱スルニ至レリ以太利ニ於テ更ニ言語ノ流暢ナラシメンカ爲「ト」ヲ變シテ「ド」トナセリ

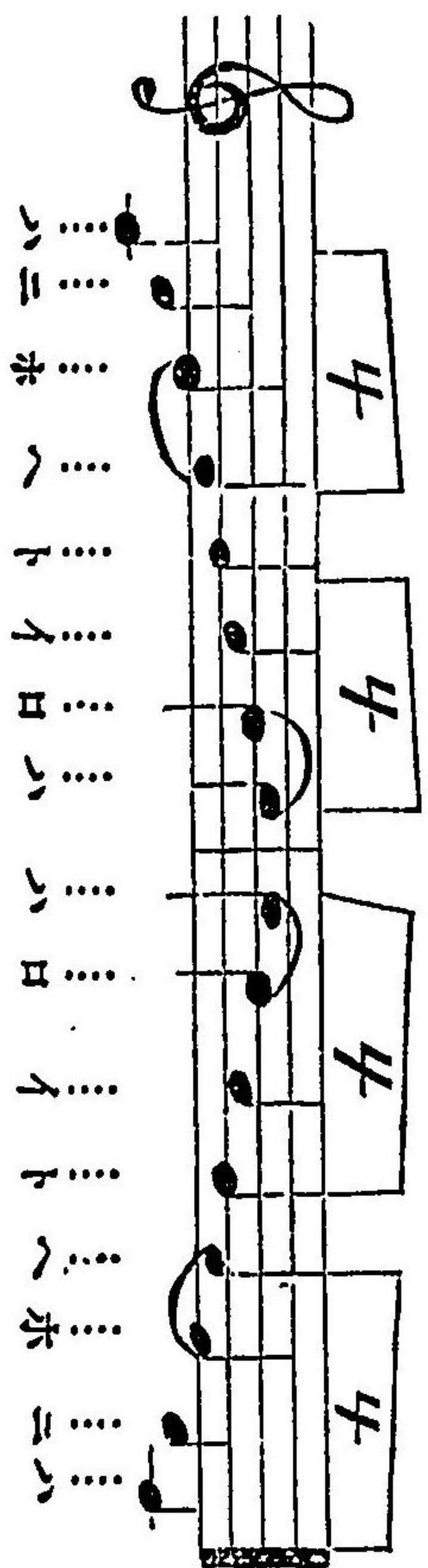
第四章

嬰音ヲ有スル長音階

模範音階 凡テ音階ハ八音一列ヨリ成立スルト雖モ各八音ノ一列ヲ以テ音階ト爲ス者ニ非ラス常ニ第三第四第七第八ノ兩間ハ半音ヲ有セサルヘカラス之レカ基礎トナルヘキ者ヲ八調音階トナス八調音階ハ數多ノ長音階ヲ構成スル模範音階トナル者ナリ

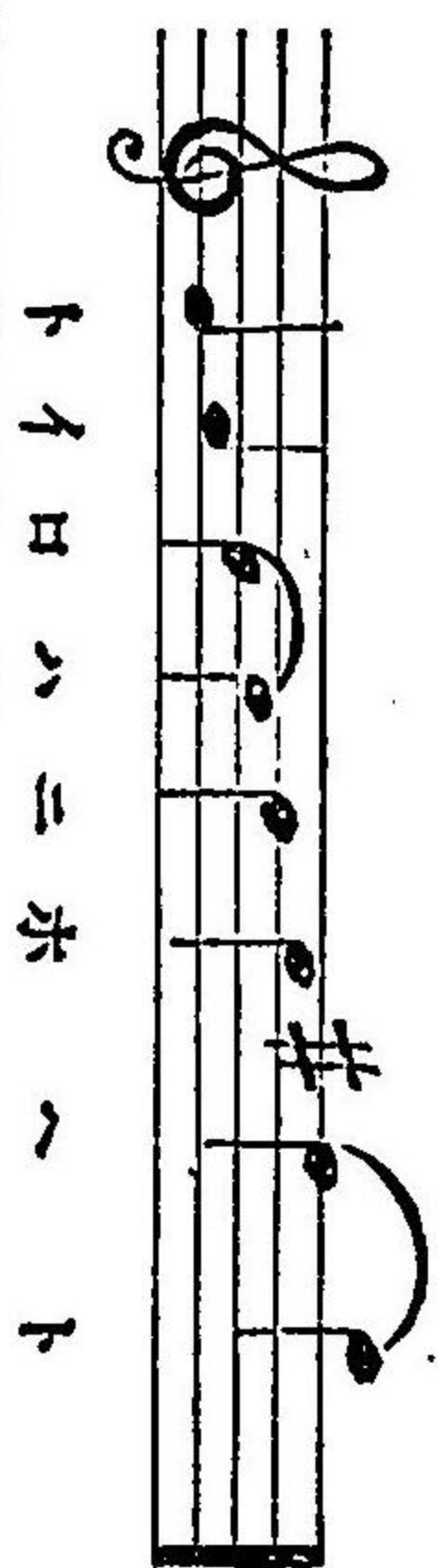
ハ調音階 此音階ノ下部第四音ナルハ、ニ、及ヒホ、ヘ、ヲ以テ上部第四音ナルト、イ、ロ、ハ、ノ四音ト比較對照スルキハ各四度ノ距離ヲ以テ何レモ二個ノ全音及ヒ一個ノ半音ヲ含有セリ古代ハ此四音ヲ以テ四連音ト稱セリ近代音樂上此四音ヲ合一シテ八音ヲ作りハ調音階ナル者ヲ構成スルニ至レリ其形左ノ如シ

圖九廿第



ト調音階 ハ調音階ノ上部四連音ナル「ト」ヨリ「ハ」ハ新出音階ノ下部四連音トナル然レモ其他ノ四音ナルニ、ホ、ヘ、ト、諸音ハ其相去ル距離ニ於テ新出音階ノ上部四連音トナス事能ハス其聲音ノ距離ハ全音二個半音一個トナサ、ルヘカラズ故ニヘ音ヲ半音上進シテ嬰ヘトナス如此クナスキハ模範音階ナルハ調音階ト同距離ヲ保ツテ以テナリ是レ即ト調音階ニシテハ調音階ト異ナル音ハ只一音アルノミ

第三十圖



注意 既成音階ノ第五度ハ新出音階ノ第一音トナリ既成音階ノ第四度ハ嬰音トナリ新出音階ノ第七度トナル

是レリ更ニ進ンテ新出音階ヲ構成セント欲セバハ調音階ヨリト調音階ヲ製出セシ如クニ調音階ヲ得ニ調音階ヨリイ調音階ヲ得ルカ如シ左圖ハ其順序ヲ以テ製出セラレタルモノナリ

第三十一圖

The diagram consists of three musical staves, each with a treble clef and a key signature of one sharp (F#). The notes on the staves are: G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4. The first staff is labeled '二調' (Two Modes) and '一調' (One Mode). The second staff is labeled '下調' (Lower Mode) and '二調' (Two Modes). The third staff is labeled '八調' (Eight Modes) and '下調' (Lower Mode). Brackets and lines connect the notes between the staves, indicating the relationships between the different modes.

樂譜結論 上章陳述シタル諸種ノ記號ハ音樂修業者ニ對シテハ一ノ指針トナリ歌曲ノ奏彈上ニ於テ便益ヲ與フル鴻大ナル者ニシテ是等ノ記號ヲ常ニ心裡ニ把提スルキハ海外萬里ノ異邦人ノ樂曲ト雖只一回ノ聽覺ヲ促サスシテ作曲者自身ノ意匠ヲ演奏シ得ヘシ然シテ傳達上ニ於テハ時期永遠ニ普及上ニ於テ其便益ノ鴻大ナルハ文字ノ如ク千差萬別ノ患ヲ生セス終始一徹變化ナキハ實ニ樂譜ノ然ラシムル處ニシテ其効偉大ナリト云フヘシ

旋律論

第一章 音程

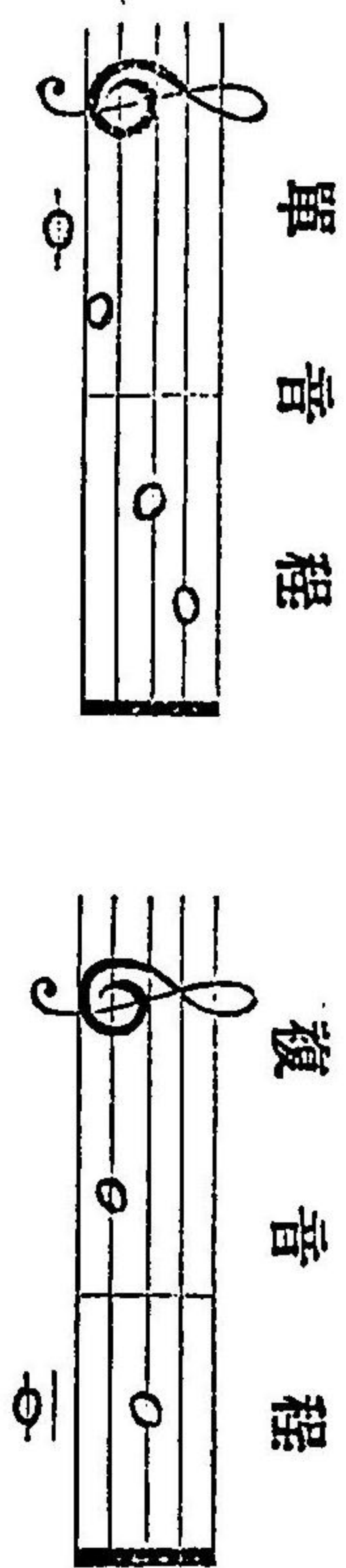
旋律及ヒ和聲 樂曲ノ如何ヲ論セズ單一ナル聲音ヲ以テ進行スルモノ之レヲ旋律ト稱シ同時ニ發響スル二音以上ノ結合ヲ和聲ト稱ス故ニ旋律ナル語ハ音ニ單一ナル聲音ノ進行ノミニ限ラサルモノトス 進行ノ種類 旋律ノ進行ニ二種アリ一ヲ順次進行ト稱シ二ヲ跳越進行ト稱ス順次進行トハ線間ノ順序ヲ以テ昇降スル者ヲ云フ跳越進行トハ一度若シクハ數度ヲ跳越スル進行ヲ云フ故ニ吾人カ通常目撃スル歌

曲ハ概シテ此二進行ノ結合變化ヨリ成立シタル者ニシテ此等ノ歌曲カ吾人ニ感情ヲ與フル異同ハ順次進行ニ有テハ溫和華麗ニ跳越進行ニ有テハ有威活潑ナルモノトス

音程 順次跳越二進行ヲ問ハズ某音ヨリ某音ニ進ム距離ヲ稱シテ音程ト云フ故ニ音程トハ高低二音間ニ成立スル音度ニシテ元此音程ナル語ハ希臘語ナル「インターバリウム」ナル語ヨリ轉訛シナル者ナリ凡テ音程ノ計數ハ基礎音ヨリ他音ニ至ル線間ヲ通計スルモノナリ

音程ノ種類 音程ヲ分類シテ單音程及ビ複音程ノ二種トナス單音程トハ二音間ノ距離八音以内ニ成立セラレタル者ヲ云ヒ複音程トハ二音間ノ距離八音以外ニ組立セラレタル者ヲ云フ假令ハ左ノ如シ

第三十三圖



音程ノ名稱 音程ノ名稱トシテ用フル者ヲ通常分ツテ長短増減完全不全完及中正ノ七種トナス是等ノ名稱ヲ附與スルニハ二音間ニ含有スル全音若シクハ半

音ノ數ニ由テ名稱ヲ異ニス假令ハ二度音程ハ二度ヨリ成ル而シテ此二音間ハ相距ル全音ヲ以テスルモノアリ半音ヲ以テスルモノアリ故ニ二度音程ハ分レテ二種トナル一ヲ長第二度音程ト稱シ一ヲ短第二度音程ト稱スルカ如シ
 十四音程 音程ハ其包有スル度數ヲ以テ之レニ名稱ヲ附ス音程ノ種類ハ其含有スル全音或ハ半音ノ數ニ由テ長短ノ名稱ヲ附與ス
 同音程(中正第一度)ハ旋律樂上音程トナスヘカラサル者ニ似タリト雖モ和聲樂上ニ於テハ常ニ音程トナス故

ニ旋律ノ音程中ニ編入セリ「ハ」ヨリ「ハ」ニ「ニ」ヨリ「ニ」ニ至ルカ如シ

長第二度 此音程ハ二個ノ半音ヨリ成立ス然シテ此二個ノ半音ナル者ハ其性質ヲ確定スル者ナリ故ニ長第二度音程ナル者ハ「ハ」ヨリ「ニ」ニ「ニ」ヨリ「ホ」ニ於ケルカ如シ

短第二度 此音程ハ二音間ニ包有スル半音ノ數一個ニシテ「ロ」ヨリ「ハ」ホ」ヨリ「ヘ」ノ如キ者ヲ云故ニ此音程ハ全音階的半音程ノ距離ニアル二個ノ音程ニ由テ成ル者ナリ

長第三度 此音程ハ三度ヨリ成立シ兩端ニ音間ニ於テ二全音ヲ含有スル者ヲ云フ假令ハ「ハ」ヨリ「ホ」ニ「ヘ」ヨリ「イ」ニ於ケルカ如シ

短第三度 此音程ハ三度ヨリ成立シ兩端ニ音間ニ一全音及一半音ヲ含有スル者ヲ云フ假令ハ「ホ」ヨリ「ト」ロ」ヨリ

「ニ」ニ於ケルカ如シ

附言 半音ノ種類ニ二種アリ全音階的半音及半音階的半音是ナリ全音階的半音トハ「ホ」ヨリ「ヘ」「ロ」ヨリ「ハ」ノ如キニ音異種類ノ半音ヲ云ヒ半音階的半音トハ「ハ」ヨリ「嬰ハ」「イ」ヨリ「變イ」ノ如キ者ヲ云フ

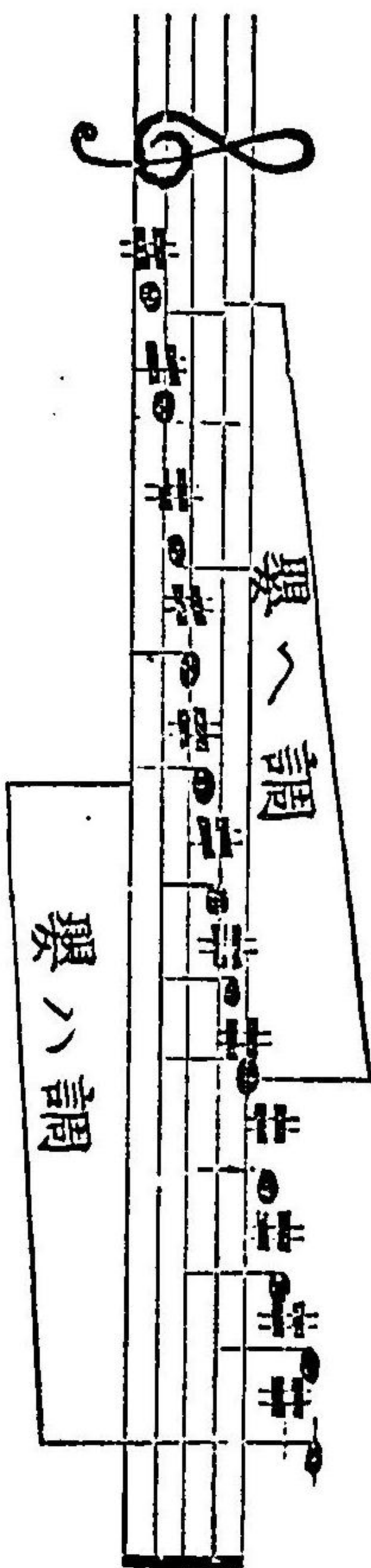
完全第四度 此音程ハ四度ヨリ成立シ兩端ニ音間ニ二個ノ全音及ヒ一個ノ半音ヲ含有スルモノヲ云フ假令ハ「ハ」ヨリ「ヘ」「ホ」ヨリ「イ」ニ至ルカ如キ者ヲ云フ此音程ハ半音五個ニ分類スルヲ得

増第四度 此音程ハ四度ヨリ成立シ兩端ニ音間ニ三個ノ全音ヲ含有シタル者ニシテ古樂家ノ三連全音ト稱セシモノハ即是ナリ

完全第五度 此音程ハ五度ヨリ成立シ三全音及ヒ一半

音ヲ含有シ長短各第三度ニ分類スルヲ得完全第五
 度音程トハ「ハ」ヨリ「ト」ニ於ケルカ如シ
 減第五度 一名不完全第五度音程ト云フ此音程ハ五
 度ヨリ成立シ全二個半音二個ヲ包有セリ此音程モ短
 第三度ノ二個ニ分類スルヲ得減第五度音程トハ「ロ」
 ヨリ「ヘ」ニ於ケルカ如シ
 長第六度 此音程ハ六度ヨリ成立シ四全音及ヒ一半
 音ヲ包有シ長第三度及ヒ完全第四度ノ兩音程ニ分ツ
 ナ得古ノ所謂六音階ナルモノ卽是ナリ長第六度ハ「ハ」
 ヨリ「イ」ニ於ケルカ如シ

The image displays three musical staves, each illustrating a different concept in scale construction and modulation. The notes are written on a five-line staff with a treble clef. The first staff shows a sequence of notes with accidentals, with a box labeled '調' (mode) covering the first four notes and another box labeled '嬰八調' (Ying-Ba mode) covering the last four notes. The second staff shows a sequence of notes with accidentals, with a box labeled '調' (mode) covering the first four notes and another box labeled '口調' (Kou mode) covering the last four notes. The third staff shows a sequence of notes with accidentals, with a box labeled '調' (mode) covering the first four notes and another box labeled '水調' (Shui mode) covering the last four notes.



調号ト主調音 譜表上ニ於テ音部記号ノ直後ニ現出シタル嬰及變ヲ稱シテ調号ト云フ嬰種ニ於テ數多ノ調号ヲ以テ製曲セラレタル樂譜ニ於テハ一目シテ其調号ノ發見法ニ苦シムコトアリ如此キ場合ニ於テ之レカ苦痛ヲ救正セント欲セハ宜シク左ニ示セル規則ヲ服膺スベシ

第一 嬰種ニ於テハ最後ニ附與セラレタル調号

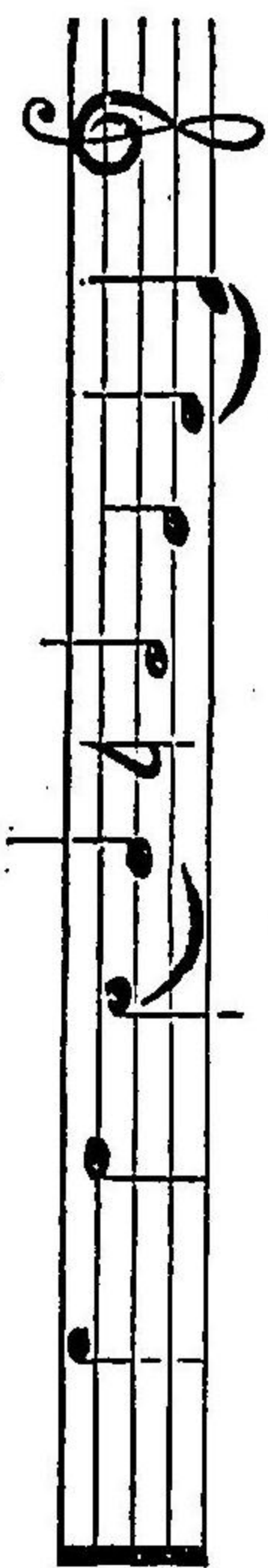
ニ注目シ其半音上ニ其主調音ヲ發見ス假令ハニ調ニ於テハ二個ノ井号ヲ有シ最後ニ附與セラレタル者ハハニシテ其半音上ニ音ヲ發見ス依テ二個ノ井号ヲ有スル者ハニ調ナルコトヲ知ルコトヲ得

第五章 變音ヲ有スル長音階

へ調音階 ハ調音階ノ下部第四連音(即へ、ホ、に、は)ヲ新出音階ノ上部四連音トナシ更ニ之レニ次ク四連音ナル「ロ、イ、ト、へ」ヲ以テスルキハ新出音階ヲ構成スルコトヲ得然リト雖モ茲ノ四連音ハ一ノ半音ヲ有セズ前條陳

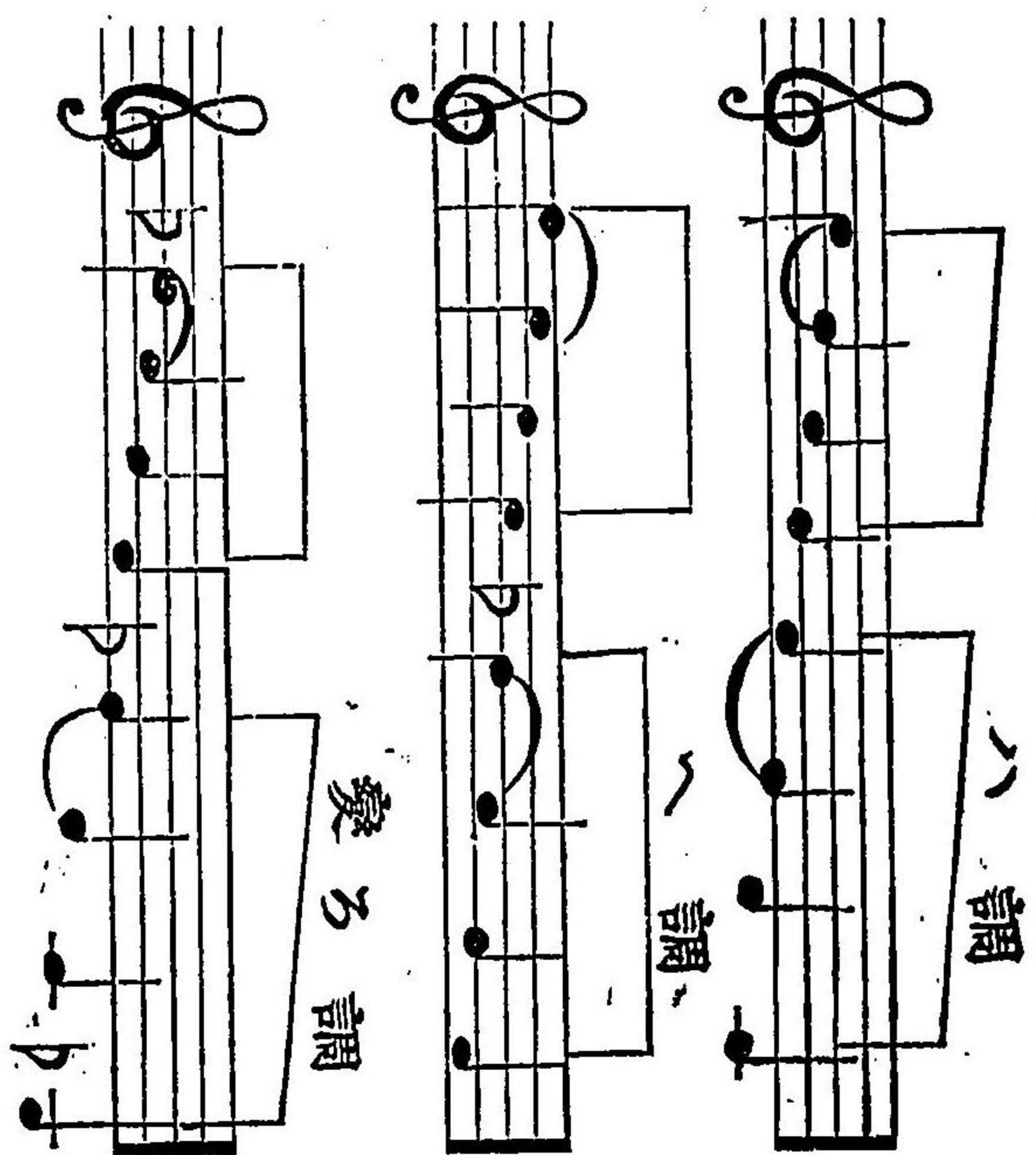
述シタル模範音階ト其距離ヲ異ニスルヲ以テ「ロ」音ニ附
 スルニ變号ヲ用ヒ半音下降スルルハ其全音及ヒ半音ノ
 位置ヲ全フシ模範音階ト違犯スルヲナシ其形左ノ如シ

第三卅圖



左圖ニ由テ見レバ上部四連音ナル者ハハ調音階ト同
 一音ニシテ其下部四連音ニ於テハ只一個ノ異音ヲ見
 ルノミ此ノ音階ヲ名ツケテハ調音階ト云フ凡テ變種
 ニ於テハ既成音階ノ第四音ハ新出音階ノ第一音トナ
 リ既成音階ノ第七音ハ凡テ變音ニシテ新出音階ノ第
 四音トナル者ナリ是レヨリ更ニ進ンテ他ノ諸音階ヲ
 構成スルルハ左ノ如シ

第三十四圖



變凡調
變五調
變凡調

今左ニ嬰号ヲ有スル長音階ヲ列記シ嬰号ノ數及ヒ其附與セラレタル位置ヲ表示ス

圖五十三第

變凡調

一調
二調
三調
六調
口調
與一調
與二調

主調音	嬰号數
ト 調	一 嬰 (♯ ^へ)
ニ 調	二 嬰 (♯ ^へ ♯)
イ 調	三 嬰 (♯ ^へ ♯ ト)
ホ 調	四 嬰 (♯ ^へ ♯ ト ニ)
ロ 調	五 嬰 (♯ ^へ ♯ ト ニ イ)
ハ ^へ 調	六 嬰 (♯ ^へ ♯ ト ニ イ ホ)
ハ ^ハ 調	七 嬰 (♯ ^へ ♯ ト ニ イ ホ ハ)

變号ノ位置及ヒ數 變号ヲ有スル長音階ヲ譜表上ニ
列記シ其位置及個數ヲ比較對照スルキハ左ノ如シ

第三十八圖

ノ調 變^ハ調 變^ニ調 變^ト調 變^イ調 變^ホ調 變^ロ調

調名	個數	變
(一) へ 調	一	變 (♯ ^ハ)
(二) ろ 調	二	變 (♯ ^ハ ♯ ^ロ)
(三) ほ 調	三	變 (♯ ^ハ ♯ ^ロ ♯ ^イ)
(四) い 調	四	變 (♯ ^ハ ♯ ^ロ ♯ ^イ ♯ ^ニ)

(七)	(六)	(五)
變は調	變と調	變に調
七	六	五
變 (b^{\flat} b^{\natural} b^{\sharp} b^{\flat} b^{\natural} b^{\sharp} b^{\flat})	變 (b^{\flat} b^{\natural} b^{\sharp} b^{\flat} b^{\natural} b^{\sharp} b^{\flat})	變 (b^{\flat} b^{\natural} b^{\sharp} b^{\flat} b^{\natural} b^{\sharp} b^{\flat})

注意 第一則變号ヲ譜表上ニ附記スル順序ハ四音上昇シテ一變ヲ附シ五音下降シテ二變ヲ附ス假令ハヘ調ニ於テハ一個ノ變号ヲ有シ四音上昇シテ變る調ヲ得ルカ如シ
 第二則復雜シタル樂曲ニ於テハ一目シテ其調名ヲ知ルコト甚タ困難ナリ然レモ今此ニ表ハシ示ス方法ヲ以テスルキハ忽チ其調名ヲ知ルコトヲ得假

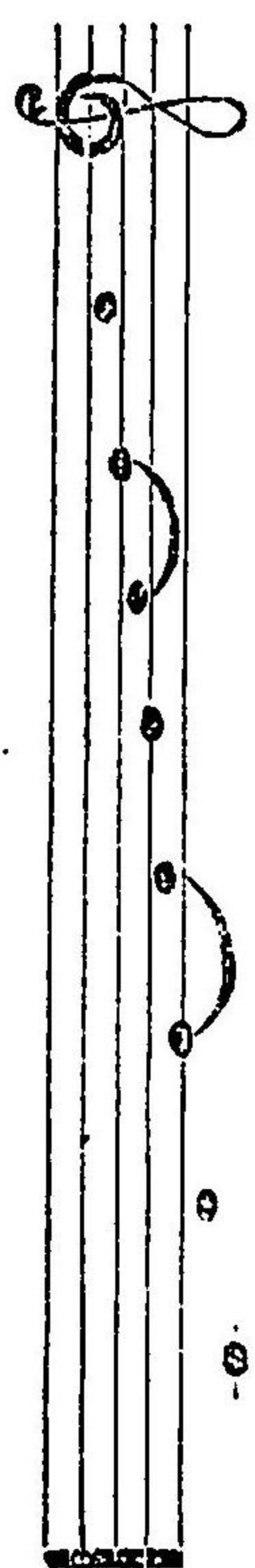
令ハ二個ノ變号ヲ有スル者ノ調名ヲ知ラント欲セバ其最後ニ附與セラレタル變号ニ注目シテ第四度下降スルキハ其調名ヲ知ルコトヲ得二個ノ變号ヲ有スル者ハ即變る調ナリ

第四章 短音階

短音階 主調音ヨリ上行第二度及第三度及第五第六ノ兩間ニ全音階的半音ヲ有スルモノ之ヲ稱シテ短音階ト云フ短音階ハ主調音ヨリ第三度ニ至ル音程ハ全音一個半音一個ヨリ成立シ短第三度音程ヲ形作ルヲ以テナリ此ニ適當ナル者ハ只「イ」ヨリ「イ」ニ至ル音

列ヲ有スル者アルノミ左ノ如シ

圖九十三第



旋律的短音階 近代音樂上ニ使用スル旋律的短音階ハ其全音及ビ半音ノ位置ヲ異ニス凡テ半音ノ位置ハ上行的ニ於テハ音階ノ第二第三ノ兩間及ビ第七第八ノ兩間ニ於テシ下行的ニ於テハ第六第五及ビ第三第二ノ兩間ニ生スル者トス左ノ如シ

圖十四第



臨時音 右圖ニ於テ附與セラレタル嬰号ハ上行スル音程ノ第六第七ノ二音ニ附シ下行スルキハ本位記号ヲ附シテ舊位ニ復セシムル者トス由テ如此キ音ヲ臨時音ト云フ此等ノ記号ハ調号中ニ算入セスシテ臨時ニ譜表上ニ要スル處ノ者ニシテ人耳ニ満足ヲ與ヘンカ爲ナレバナリ 關係短音階 短音階ノ主調音タルモノ調号同一ニシテ長音階ノ上行スル第六度ニアルキハ此レヲ稱シテ關係短音階ト云フ是レ其調号相同シクシテ共ニ關係ヲ有スレハナリ 嬰種ニ於ケル諸種ノ短音階ヲ舉クレバ左ノ如シ

圖 一 十 四 第

ト調關係短音階 は調



ニ調關係短音階 ろ調



イ調關係短音階 へ調



ホ調關係短音階 は調



變種短音階 變種ニ於ケルヘ調長音階ノ關係短音階
 ナルニ調及變ほ調ノ關係短音階ナルハ調ハ上行スル
 キ既ニ變音トナリタル者ヘ調ニ於テハ第六音變ほ調
 ニ於テハ第六第七ノ二音ニ本位記号ヲ付シ半音上ケ
 下行スル際ニ於テハ更ニ變号ヲ附シテ之レヲ下クル
 者トス今左ニ諸種ノ短階ヲ表シ示ス

圖 二 十 四 第

〜調長音階ノ關係短音階 に調



變る調長音階ノ關係短音階 と調



變は調長音階ノ關係短音階 は調



變い調長音階ノ關係短音階 へ調



諸調子ノ性質 佛國音樂博士シ―カスト子―ル氏ハ
長短兩音階ヨリ生スル諸調子ニ就キ左ノ評語ヲ下サ
レタリ

第一嬰種

第一長音階

(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
ほ	い	に	と	は
調	調	調	調	調
粗	活	華	野	清
暴	潑	麗	鄙	朗

第二短音階

(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
嬰	嬰	ろ	に	い
は	へ	調	調	調
失	鬱	陰	優	悲
望	憂	氣	美	哀

第二變種

第一長音階

第二短音階

(1) へ調	温和	(1) に調	煩悶
(2) 變ろ調	懇切	(2) と調	感動
(3) 變ほ調	莊嚴	(3) は調	苦心
(4) 變い調	暗黯	(4) へ調	痛惜
(5) 變に調	闕	(5) ほ調	(闕)

第五章

七音ノ名稱及ヒ性質

七音ノ名稱 長短兩種音階ヲ組織スル七個ノ聲音ハ各司掌スル處ニ隨ヒ特別ナル名稱ヲ有ス左ノ如シ

第一 主和絃……………第一階

第二 上主和絃……………第二階

第三 中和絃……………第三階

第四 次屬和絃……………第四階

第五 屬和絃……………第五階

第六 次中和絃……………第六階

第七 導音……………第七階

第八 主和絃……………第八階(第一階ノ循環音)

七音ノ性質 第一主和絃トハ音階第一音ノ名稱ニシテ一樂曲ノ旋律ノ基ク處ニシテ且其終局ヲ告クル處

ノ音ナリ故ニ七音中ノ総理トモ稱スヘキモノニシテ
諸種ノ聲音皆茲ニ到テ靜息スルヲ以テ是レヲ第一靜
止音ト稱ス

第二 上主和絃ハ主和絃ノ上位ニ有テ他ノ諸音
ニ比較スルキハ其勢力稍少シト雖モ下行的ニ
於テ其効用重大ナルモノナリ

第三 中和絃ハ主和絃ト屬和絃トノ中間ニ有テ
第三靜止音ノ位置ヲ保テリ某學者ノ甘音ト附
名セシ者ハ卽是ナリ

第四 次屬和絃ハ中和絃ノ直上ニ有ル音ニシテ

聲音ノ經過上卽第五度ヨリ下降スル際ニ於テ
最必用ナル音ナリ常ニ主和絃ヲ保翼奉載スル
ノ性質ヲ具ヘリ

第五 屬和絃ハ主和絃ノ上方第五度ニシテ主和
絃ト親密ナル關係ヲ有シ恰モ主和絃ニ對スル
宰相ノ如ク最モ重要ナル聲音トナス諸音中第
一度ニ亞テ勢力ヲ有スル者ナレバ是レヲ第二
靜止音ト稱ス

第六 次中和絃或ハ上屬和絃ト稱シ第二度ト其
効用ヲ同シウセリ

第七 導音一名感覺音ト稱ス人若シ一音階ヲ奏唱シ此音ニ至ルキハ忽チ主和絃ニ歸着スルノ歡念ヲ起ス故ニ此音ハ第六度ヨリ第八度ニ至ル間ニ有テ之レカ經過上圓滑ニナスヲ以テ導音ノ名稱ヲ有セリ

第八 重和絃(第一度ノ全ク循環シテ次出シタヲ以テ其性質相同シ)

第六章 主調及轉調

主調 一樂曲ノ主調ヲ發見セント欲セハ先ツ其附與セラレタル調子記号ニ注意スヘシ假令バ譜表上ニ二

個ノ變号ヲ有シタル者アルキハ其樂曲ハ變ろ調ノ長調ニ屬スルカ將タ之レカ關係短音階ノト調ニ屬スルカ如シ今此ノ目的ニ就テ樂曲ヲ檢定セント欲セバ左ノ二則ニ注意スヘシ

第一則 譜表上ニ於テ附與セラレタル臨時記号ニ注意スヘシ

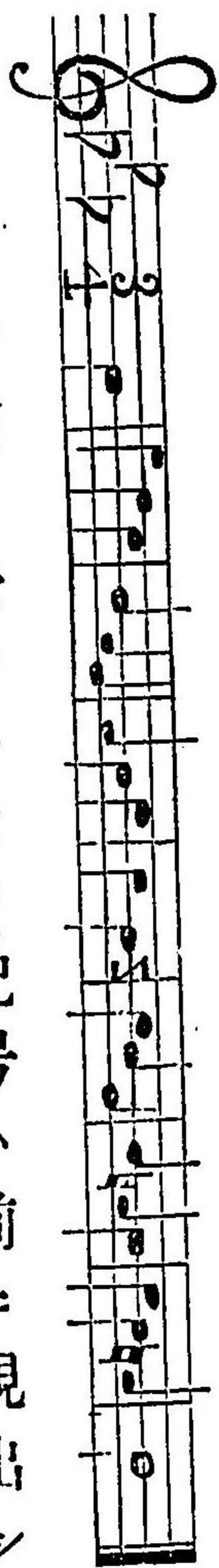
第二則 一樂曲中ニ於テ其首音及結尾ノ音トニ注目ス凡ソ樂曲ハ其主調音ニ起リ主調音ニ終ルヲ一般ノ通規トナスヲ以テナリ

第三則 樂曲ノ音程ニ注意スヘシ歌曲ノ初メニ

於テ長第三度音ノ現出シタル者ハ長調ニシテ短三度音程ノ現出シタル者ハ短調ナルカ如シ
 轉調 旋律ノ進行上嬰或ハ變ヲ以テ其主調音ヲ他ノ調ニ轉スルモノ之レヲ轉調ト云フ其最モ普通ナルモノハ主調音ノ調ヨリ其關係調ニ轉ズルモノヲ最多シトス
 ハノ長音階 此音階ヨリ最モ多ク轉調スル者ヲ屬和絃(卽ト調)及其關係短調トナス凡テ轉調ノ記号トシテハ譜表上ニ一ノ井、b、若シクハ、 \sharp ノ三記号ノ現出スル者ニシテ卽之レヲ特有ナル某調ニ轉シタルトナ指示

スル者ナリ一例ヲ上クレハ左ノ如シ
 變ハ調長音階ヨリ變る調ニ轉調シタル例

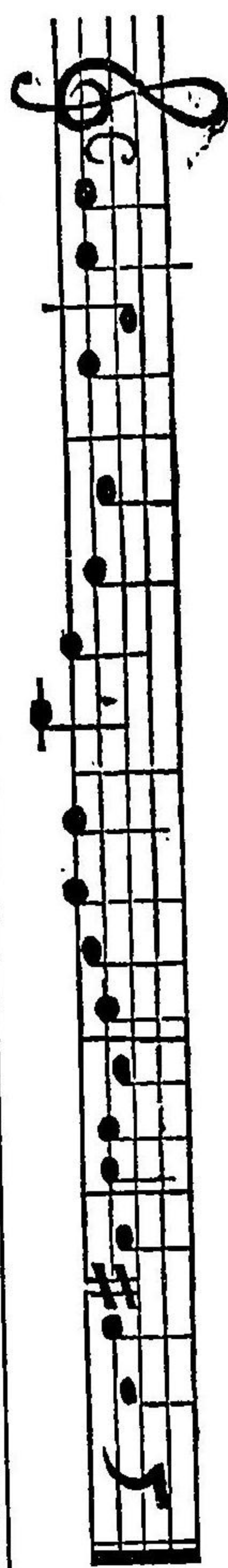
圖三十四第



注意 右圖ニ於ケル \sharp ノ記号ハ前ニ現出シタル變イヲ消除シ變ハ調ノ第五度變る調ニ轉調シタルモノナリ

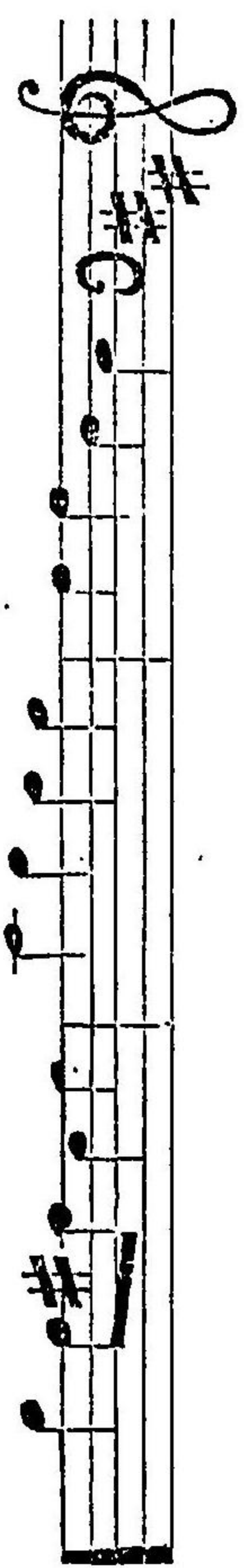
ハ調長音階ヨリ關係短音階ノイ調ニ轉調シタル例

圖三十四第



右圖ニ於テ井ノ記号ハイ調ノ主調音ニ導カンカ爲
 附與シタル者ニシテハ調長音階ヨリ之レカ關係短
 音階ナルイ調ニ轉調シタル例證ナリ
 經過音 嬰若シクハ變ノ記号ハ常ニ轉調ノ記号トナ
 スヘカラサルコアリ是單ニ鹽梅用ノ記号ニ屬スルナ
 以テ經過音ト稱ス元來此嬰及變ナル記号ハ聲音ノ經
 過上之カ圓滑ヲ計ランカ爲附與セラレタルコト有リ
 一例ヲ舉クレハ左ノ如シ

第四十五圖

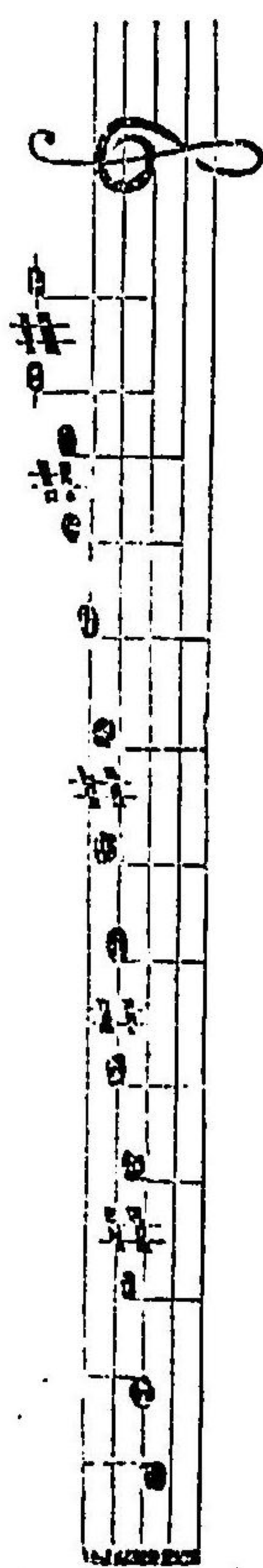


半音階

半音階 此音階ハ八音ヲ分割シテ十二個ノ半音トナ
 シタルモノニシテ今此半音ヲ區分スル時ハ全音階的
 半音七個半音階的半音五個ノ集合ヨリ成立シタル者
 ナリトス元此ノ半音ナルモノハ彩色ヲ含有スル希臘
 語ノ「クロマ」ト云ヘル語ヨリ來レル者ニシテ一樂曲中
 全音ノ旋律ニ彩色ヲ與フルノヲ以テ音樂上長短二音
 階ニ次テ必要ナルモノトス
 嬰種半音階 一名上行的半音階ト稱シ下部ヨリ上部
 ニ進行スル性質ヲ有ス譜表上ニ記スルニ當テハ二個

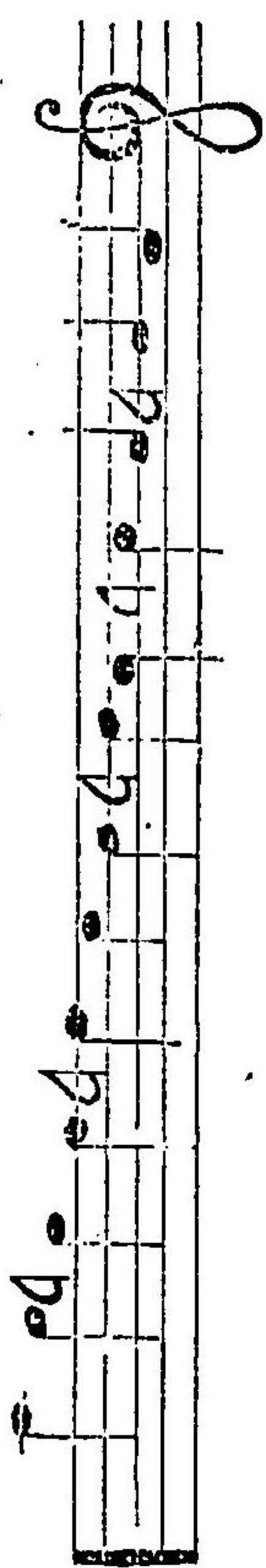
ノ白鍵ヲ除クノ外ハ上行ニ於テハ嬰ノ記号ヲ用フル者トス左ニ表ハシ示ス者ハハ調ニ於ケル半音階ナリ

圖六十四第



變種半音階 一名下行的半音階ト云フ上部ヨリ下部ニ下行スルノ性質ヲ有ス譜表上ニ記載スルニ當テハ變号ヲ用フ左ニ表ハシ示スモノハハ調ニ於ケル半音階ナリ

圖七十四第



半音階ノ階名 此音階ヲ唱奏スルニハ左ニ示セル名稱ヲ用フルモノトス

圖八十四第

レ	レ
レ	レ
レ	レ
レ	レ
レ	レ
レ	レ
レ	レ
レ	レ
レ	レ
レ	レ

上行的半音階

圖九十四第

レ	レ
レ	レ
レ	レ
レ	レ
レ	レ
レ	レ
レ	レ
レ	レ
レ	レ
レ	レ

下行的半音階

半音階的音程 上章既ニ全音階ヨリ生スル諸音程ハ

是レヲ説明セシヲ以テ爰ニ半音階ヨリ生スル諸種ノ音程ヲ畧説セントス半音階的音程ハ全音階的音程ヲ増減シタル者ニシテ音程ノ上ニ増若シクハ減ノ文字ヲ加ヘテ之レヲ區別ス此音階ヨリ生スル者ヲ増第一度増第二度減第三度及ヒ減第四度ノ四種トナス

- 第一 増第一度音程ハ $\left[\begin{smallmatrix} \flat \\ \text{は} \end{smallmatrix} \right]$ ヨリ $\left[\begin{smallmatrix} \sharp \\ \text{は} \end{smallmatrix} \right]$ ノ如キ者ヲ云フ
 - 第二 増第二度音程ハ $\left[\begin{smallmatrix} \flat \\ \text{ば} \end{smallmatrix} \right]$ ヨリ $\left[\begin{smallmatrix} \sharp \\ \text{に} \end{smallmatrix} \right]$ ノ如キ者ヲ云フ
 - 第三 減第三度音程ハ $\left[\begin{smallmatrix} \sharp \\ \text{は} \end{smallmatrix} \right]$ ヨリ $\left[\begin{smallmatrix} \flat \\ \text{は} \end{smallmatrix} \right]$ ノ如キ者ヲ云フ
 - 第四 減第四度音程ハ $\left[\begin{smallmatrix} \flat \\ \text{に} \end{smallmatrix} \right]$ ヨリ $\left[\begin{smallmatrix} \flat \\ \text{べ} \end{smallmatrix} \right]$ ノ如キ者ヲ云フ
- 以上四種ノ轉回シタル音程ハ増第五度増轉回音程

第六度減第七度及ヒ減第八度トナス

- 第一 増第五度音程ハ $\left[\begin{smallmatrix} \flat \\ \text{ヨリ} \end{smallmatrix} \right]$ $\left[\begin{smallmatrix} \sharp \\ \text{ド} \end{smallmatrix} \right]$ ノ如キ者ヲ云フ
- 第二 増第六度音程ハ $\left[\begin{smallmatrix} \flat \\ \text{は} \end{smallmatrix} \right]$ ヨリ $\left[\begin{smallmatrix} \sharp \\ \text{い} \end{smallmatrix} \right]$ ノ如キ者ヲ云フ
- 第三 減第七度音程ハ $\left[\begin{smallmatrix} \sharp \\ \text{は} \end{smallmatrix} \right]$ ヨリ $\left[\begin{smallmatrix} \flat \\ \text{ろ} \end{smallmatrix} \right]$ ノ如キ者ヲ云フ
- 第四 減第八度音程ハ $\left[\begin{smallmatrix} \flat \\ \text{は} \end{smallmatrix} \right]$ ヨリ $\left[\begin{smallmatrix} \flat \\ \text{は} \end{smallmatrix} \right]$ ノ如キ者ヲ云フ

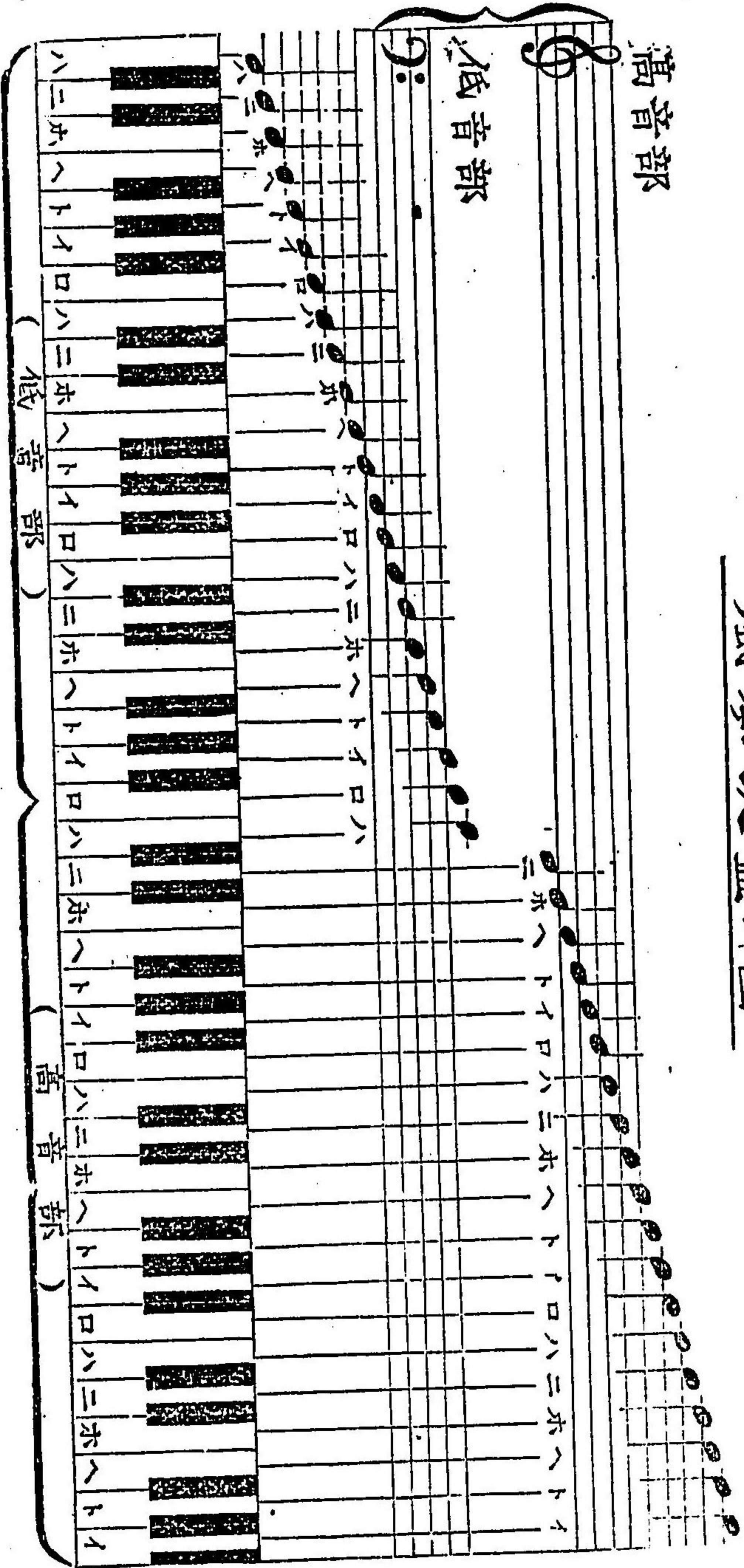
此音階ハ旋律上ニ於テハ用ヒスト雖モ和聲上ニ於テハ屢々用フルコアリ

此等ノ諸音程ハ常ニ不協和音程ノ部類ニ編入スル者ニシテ旋律上ニ於テ偶々見ル諸音程ナリ

旋律結論 旋律ハ人心ニ喜怒哀樂ノ感情ヲ引起サシ

ムル要素ニシテ歌曲ノ骨髓タルモノナリ故ニ旋律序ニ適ヒ調和結合宜シキヲ得ハ百萬ノ敵兵ト雖モ以テ恐ルニ足ラズ勝ヲ千里ニ逞シウスル「難カラズ千百ノ艦躰以テ底ノ藻屑トナスヘシ彼米國々歌」ヘルユロソビフ「ハ一回ノ吹奏ヲ以テ能ク民心ヲ收攬シ治國安寧ノ基本ヲ鞏固ナラシメ佛國々歌「マルセール」ハ一唱以テ王政ヲ顛覆スルニ至リシハ實ニ旋律ノ然ラシムル處ニシテ其効力偉且大ナリト云フヘシ

風琴鍵盤ノ圖



版權登錄

發行所



全 明治二十九年五月二十五日印刷
年五月二十八日發行

定價金貳拾五錢

著作者 鷹野國藏

富山縣平民

發行者 福田滋次郎

富山市東四十物町十番地

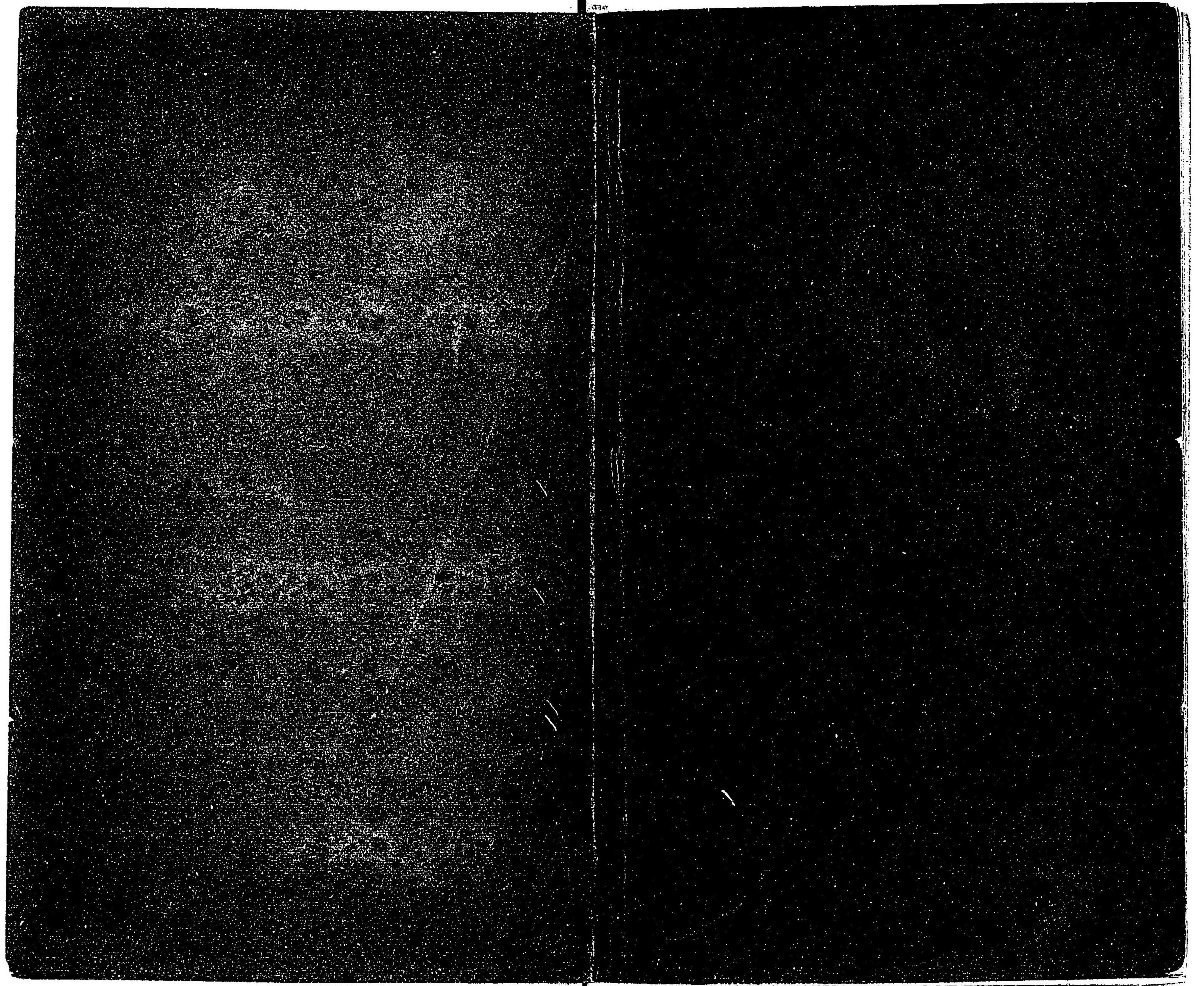
富山縣平民

印刷者 福田金次郎

東京々橋區錦屋町十四番地

東京々橋區錦屋町十四番地

北隆館



18
710

